

2023年 3月期 第2四半期 決算説明会資料



JPX-NIKKEI 400



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)



2022
健康経営優良法人
Health and productivity



2016
攻めのIT経営銘柄
Competitive IT Strategy Company

平成27年度
地球温暖化防止活動環境大臣表彰



対策活動実践・普及部門



DIVERSITY
MANAGEMENT
SELECTION
100
2015



ECO
FIRST



ECO-MARK AWARD
2010



Plastics
Smart

株式会社エフピコ
2022年 11月4日

本資料取扱のご注意

掲載する情報につきまして、細心の注意を払っております。将来の予測等に関する情報は、現時点で入手可能な情報にもとづき、当社が判断した予測であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により実際の業績は、記述している将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があります。

本資料に掲載する情報の、**無断での引用や転載、複製は禁じられております。**

2023年3月期 第2四半期 決算概要

専務取締役 経理財務本部本部長
池上 功

決算概要

(2023年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 百万円	上期 実績							上期 計画			通期 期初計画		
	2022年3月期		2023年3月期					2023年3月期			2023年3月期		
	実績	構成比	実績	構成比	増減	前年比	数量	計画	構成比	計画比	計画	構成比	進捗率
トレー	19,559	20.1	19,785	19.3	+226	101.2%	94.6%	20,660	20.0	95.8%	42,820	20.2	46.2%
弁当・惣菜	54,237	55.7	58,691	57.2	+4,453	108.2%	100.0%	58,330	56.4	100.6%	120,920	57.0	48.5%
小計	73,797	75.8	78,477	76.5	+4,679	106.3%	98.1%	78,990	76.4	99.4%	163,740	77.2	47.9%
その他製品	1,566	1.6	1,964	1.9	+398	125.4%		1,810	1.8	108.6%	3,630	1.7	54.1%
製品売上高	75,364	77.4	80,442	78.4	+5,077	106.7%		80,800	78.1	99.6%	167,370	78.9	48.1%
包装資材	20,995	21.6	21,127	20.6	+131	100.6%		21,610	20.9	97.8%	42,630	20.1	49.6%
その他商品	1,008	1.0	992	1.0	△15	98.5%		1,000	1.0	99.3%	2,000	0.9	49.6%
商品売上高	22,003	22.6	22,119	21.6	+116	100.5%		22,610	21.9	97.8%	44,630	21.1	49.6%
売上高	97,367	100.0	102,562	100.0	+5,194	105.3%		103,410	100.0	99.2%	212,000	100.0	48.4%
営業利益	8,548	8.8	6,072	5.9	△2,475	71.0%		5,050	4.9	120.3%	16,400	7.7	37.0%
経常利益	8,907	9.1	6,409	6.2	△2,497	72.0%		5,400	5.2	118.7%	17,000	8.0	37.7%
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,803	6.0	4,131	4.0	△1,672	71.2%		3,560	3.4	116.0%	11,230	5.3	36.8%
償却前経常利益	15,632		13,437		△2,194	86.0%		12,420	108.2%		31,380	42.8%	

過去最高
売上高
8期連続増収

◇販売

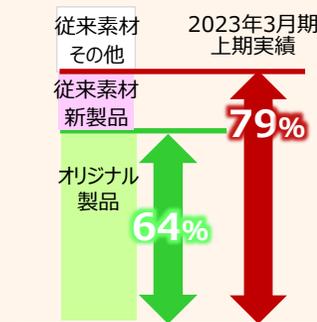
製品>

- ・生鮮食品向け汎用容器の反動減
- ・惣菜向け容器の出荷が堅調
- ・第一次製品価格改定(2021年10月公表)
: 効果反映済
- ・第二次製品価格改定(2022年 4月公表)
: 交渉完了。2Qより、一部早期実現
3Q以降、拡販活動再開

商品>

- ・ECサイト「パックマーケット」を通じた販路の拡大

◇製品売上構成比

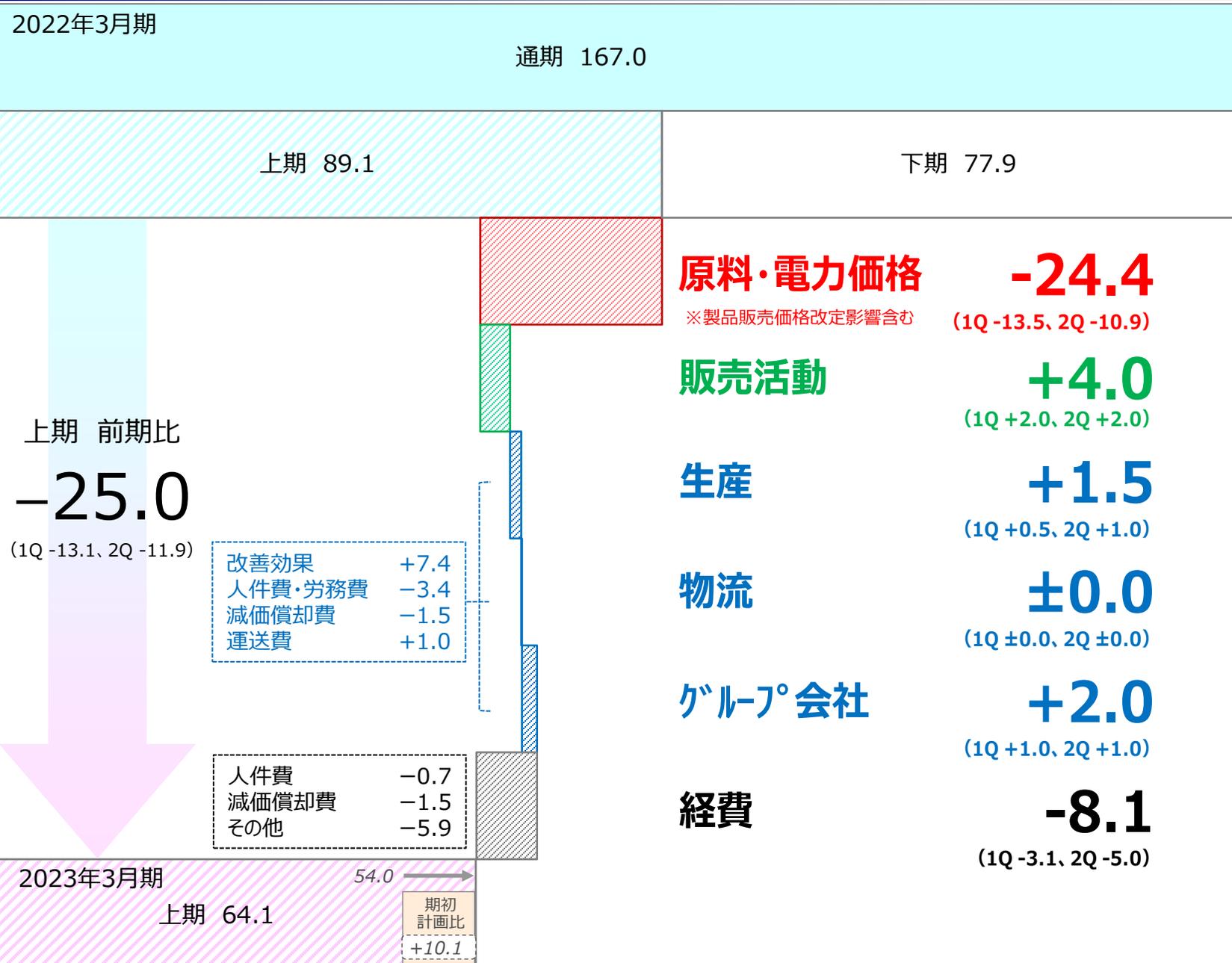


◇実績前年比

	1Q 実績	2Q 実績	上期 実績	通期 計画
製品売上高	104.9%	108.5%	106.7%	110.3%
製品枚数	98.1%	98.2%	98.1%	103.0%
対前々期	104.2%	104.6%	104.4%	
経常利益	69.4%	74.3%	72.0%	101.8%
経常利益率	6.0%	6.5%	6.2%	8.0%

経常利益 利益増減実績 (2023年3月期 第2四半期累計)

単位：億円



期初
計画比

+10.1

二次値上げの
早期実現

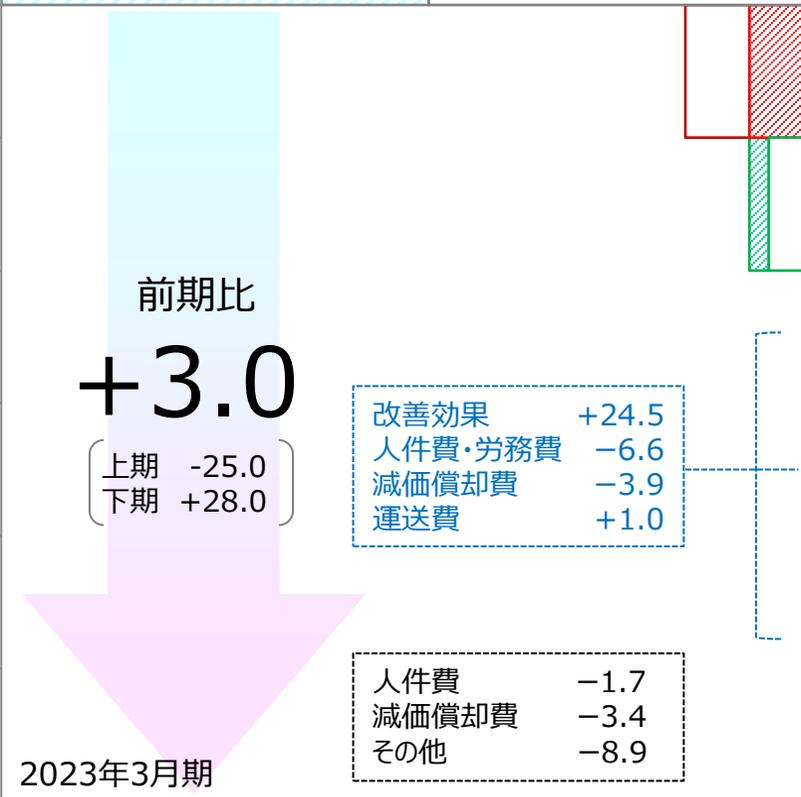
期初
計画比
+10.1

経常利益 利益増減 見通し (2023年3月期計画)

第2四半期時点

単位：億円

2022年3月期	
通期 167.0	
上期 89.1	下期 77.9



原料・電力価格	-11.0
※製品販売価格改定影響含む (上期 -24.4、下期 +13.4)	
販売活動	+13.0
(上期 +4.0、下期 +9.0)	
生産	+8.0
(上期 +1.5、下期 +6.5)	
物流	±0.0
(上期 ±0.0、下期 ±0.0)	
グループ会社	+7.0
(上期 +2.0、下期 +5.0)	
経費	-14.0
(上期 -8.1、下期 -5.9)	

期初
計画比
±0.0

上期差異
+10.1

下期見通し変更
-10.1

二次値上げの
早期実現

電力価格の
更なる上昇を見込む

2023年3月期	54.0	期初 計画比	下期見通し 105.9	← 116.0	期初 計画比
上期 64.1		+10.1			-10.1

通期見通し 170.0

設備投資・研究開発費 (2023年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 百万円	上期 実績				上期 計画		通期 計画	
	2022年3月期	2023年3月期			2023年3月期		2023年3月期	
	実績	実績	増減	前年比	計画	計画比	計画	進捗率
有形固定資産	14,860	20,593	+5,732	138.6%	24,000	85.8%	32,800	62.8%
無形固定資産	182	276	+93	150.9%	90	306.7%	200	138.0%
設備投資	15,043	20,869	+5,825	138.7%	24,090	86.6%	33,000	63.2%
減価償却費	6,725	7,027	+302	104.5%	7,020	100.1%	14,380	48.9%
研究開発費	563	613	+50	109.0%	718	85.5%	1,397	43.9%

【主な設備投資】

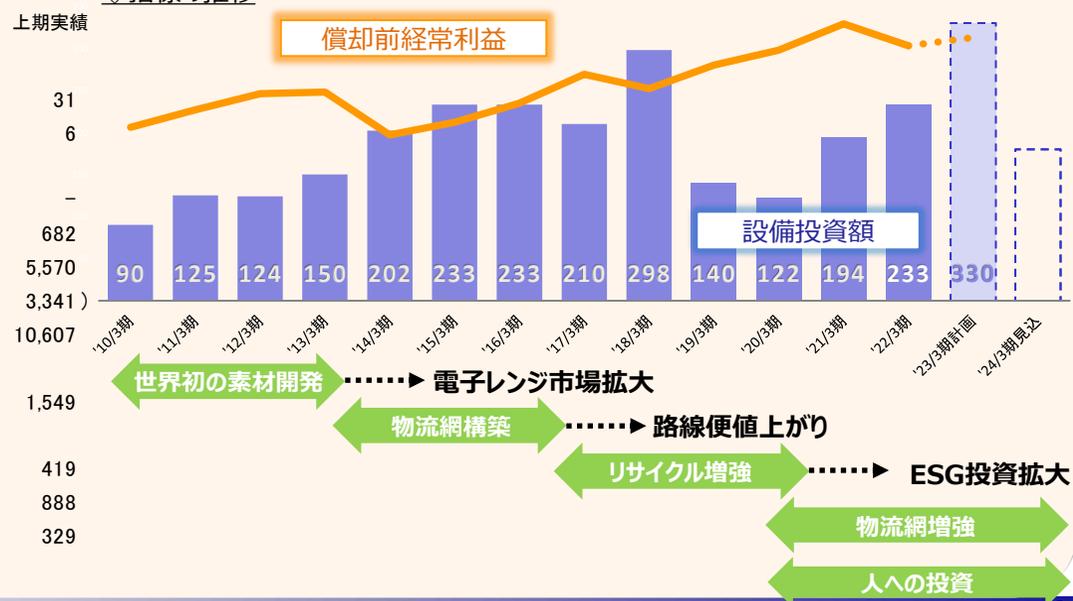
オリジナル製品への投資：エコAPET製品の生産能力・品質向上

投資内容	単位: 百万円	投資総額	2023年3月期 計画	上期実績
◆ エコAPET原料 生産性向上(関東・中部)		393	393	31
◆ エコAPET原料 生産能力増強(NPR)		754	754	6

販売量拡大への投資：安定供給・効率改善・働く環境整備

投資内容	時期	完了/稼働	単位: 百万円	投資総額	2023年3月期 計画	上期実績
◆ 自動化設備の導入					76	-
◆ 従来素材製品能力増強			1,149	1,149	682	682
◆ 中部第一工場建替え	2022年	5月 稼働	8,530	5,529	5,570	5,570
		(圧縮記帳後)	6,301	3,301	3,341	3,341
◆ 関西工場・関西ハブセンター	2022年	9月 建屋完成	25,261	17,238	10,607	10,607
	2023年	2月 稼働予定				
◆ ピコハウス5号館	2022年	9月 完成	2,173	1,548	1,549	1,549
◆ グループ会社生産拠点の増強						
◆ ダンボール工場増床	2024年	1月 完成予定	3,173	341	419	
◆ 金型					1,710	888
◆ IT投資					568	329

◇指標の推移



貸借対照表

(2023年3月期 第2四半期累計実績)

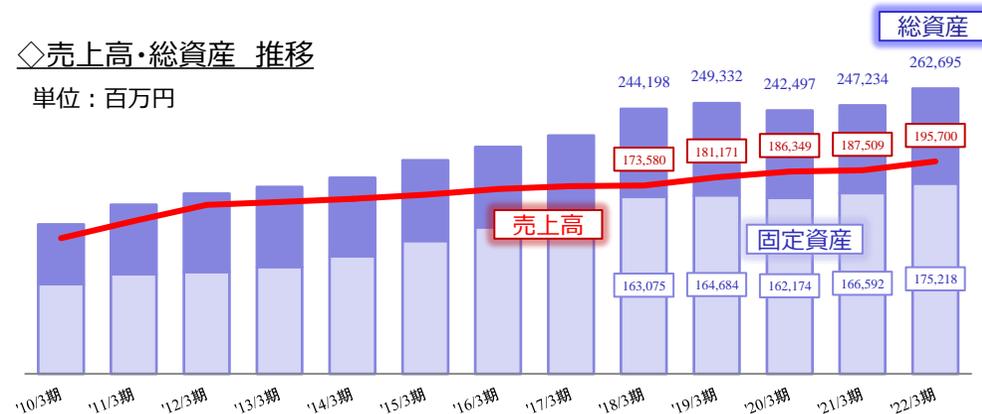
単位: 百万円	前連結会計年度	当第2四半期連結会計期間			
	2022年3月期 2022/3/31	2022/9/30	増減	前年比	2023年3月期 主な増減内訳
流動資産	87,477	105,267	+17,789	120.3%	現金及び預金 +9,638 受取手形及び売掛金 +3,893 商品及び製品 +1,563 原材料及び貯蔵品 +965
固定資産	175,218	195,540	+20,322	111.6%	建物及び構築物(純額) +22,039 建設仮勘定 △9,610 投資有価証券(LSSPI) +6,835
資産合計	262,695	300,807	+38,111	114.5%	
流動負債	76,807	89,383	+12,575	116.4%	買掛金 +3,021 短期借入金 +1,841 未払金 +9,195
固定負債	53,432	76,990	+23,557	144.1%	長期借入金 +23,464
負債合計	130,239	166,373	+36,133	127.7%	
純資産合計	132,455	134,434	+1,978	101.5%	利益剰余金 +2,044
負債純資産合計	262,695	300,807	+38,111	114.5%	

自己資本比率 44.5%

- 資産 オリジナル製品の能力増強と安定供給への戦略投資
- 負債 戦略投資の原資として借入金の活用
- 純資産 経営体質の充実強化
事業拡大に向けた機動的な対応への備え

◇売上高・総資産 推移

単位: 百万円



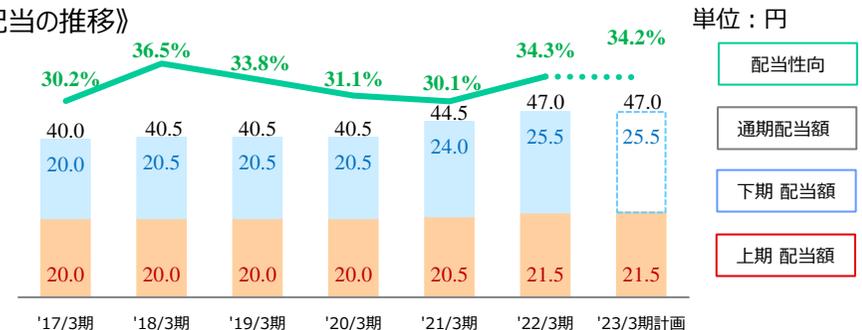
キャッシュ・フロー

(2023年3月期 第2四半期累計実績)

単位: 百万円	上期	
	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績 主な内訳
営業活動によるC/F	9,274	6,785 税金等調整前四半期純利益 6,137 減価償却費 7,027 売上債権の増減額(△は増加) △ 3,839 棚卸資産の増減額(△は増加) △ 2,532
投資活動によるC/F	△ 9,114	△ 19,615 有形固定資産の取得 △ 12,833 関連会社株式取得支出(LSSPI) △ 6,800
フリーキャッシュフロー	159	△ 12,829
財務活動によるC/F	1,535	22,468 長期借入れによる収入 33,000 長期借入金の返済 △ 7,693 リース債務の返済 △ 719 配当金の支払額 △ 2,084
現金及び現金同等物の増減額	1,695	9,638
現金及び現金同等物の期末残高	19,580	29,383

- 営業CF オリジナル製品販売と合理化による利益確保
- 投資CF 収益基盤構築に向けた戦略投資を実施
- 財務CF 戦略投資の原資として借入の実施
継続的に安定した配当の実施

《配当の推移》



※当社は、2020年10月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2017年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、配当金額を記載しております。

企業価値拡大へ向けて

代表取締役会長 兼 エフピコグループ代表

佐藤 守正



株式会社 **エフピコ**

目次

- **原料動向 / 価格改定**
- **マーケットの状況**
- **エコ戦略**
- **安定供給**
- **戦略投資**
- **成長戦略**

原料動向 価格改定



原料価格高騰

2022年11月時点

2021年3月期

2022年3月期

2023年3月期

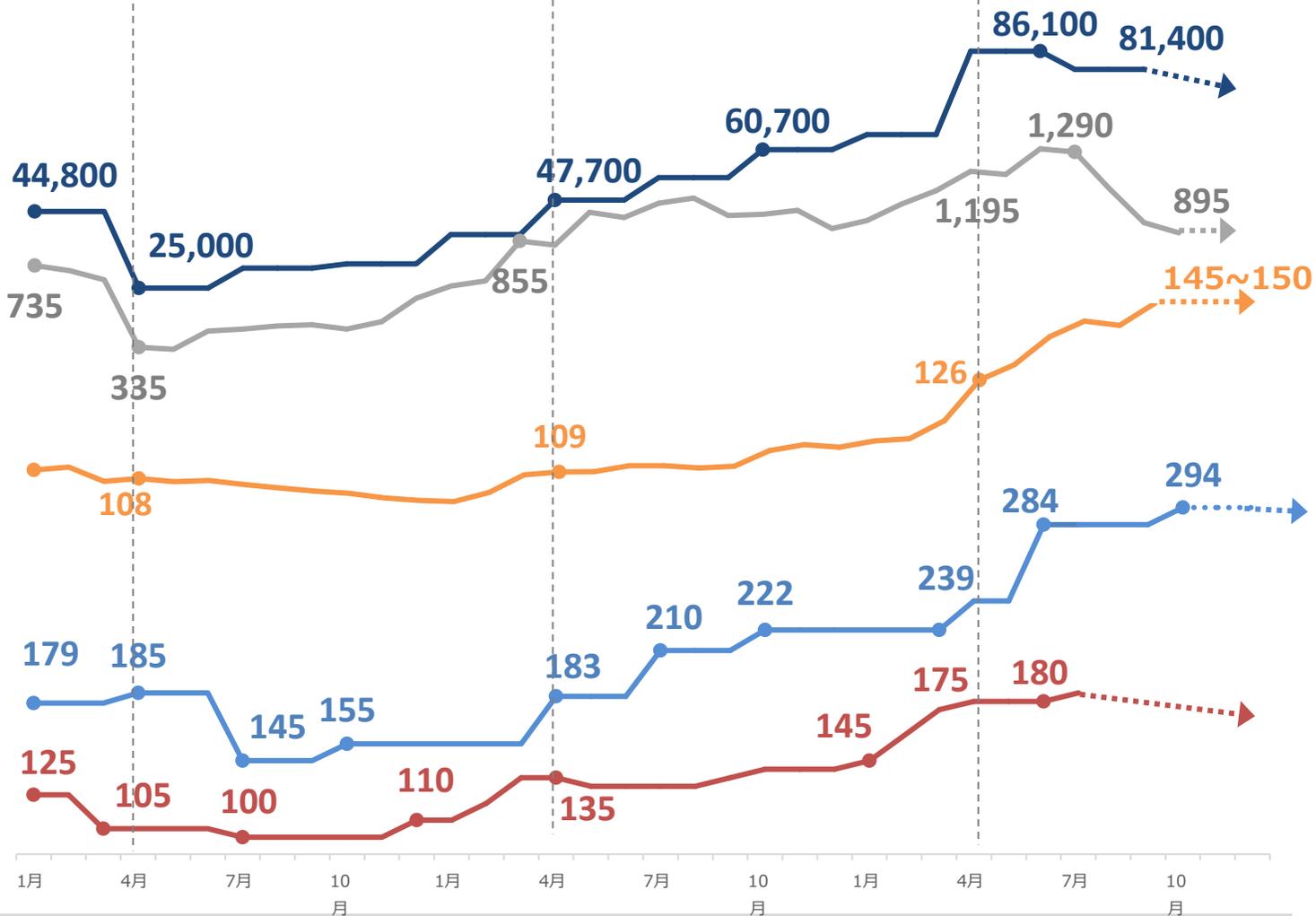
国産ナフサ換算 (円/KL)

ベンゼン (\$/トン)

為替 (¥/\$)

国内一般PS (円/kg)

国内一般PET (円/kg)



電力単価上昇

価格改定

2022年3月期		2023年3月期	
3Q	4Q	1Q	2Q



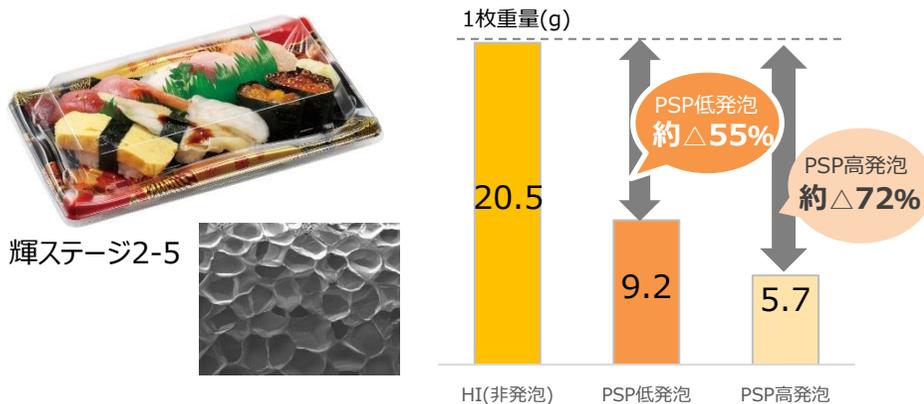
10/29発表
12/1出荷分より 10%以上



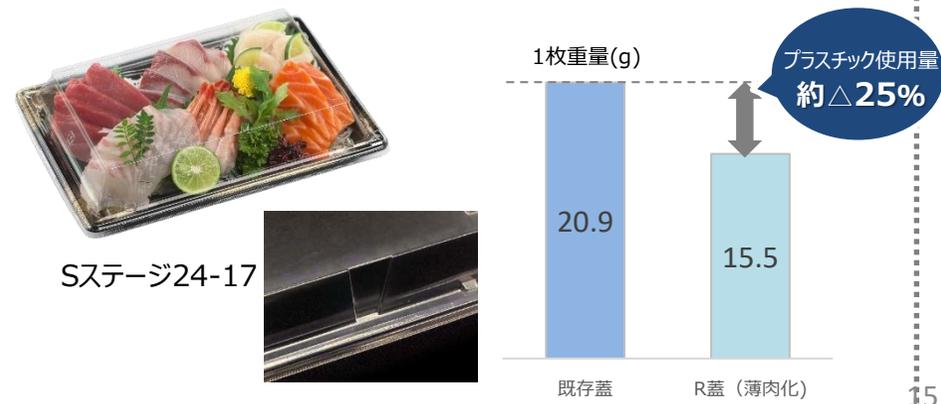
4/28発表
6/1出荷分より 15%以上

プラスチック使用量削減製品の活用

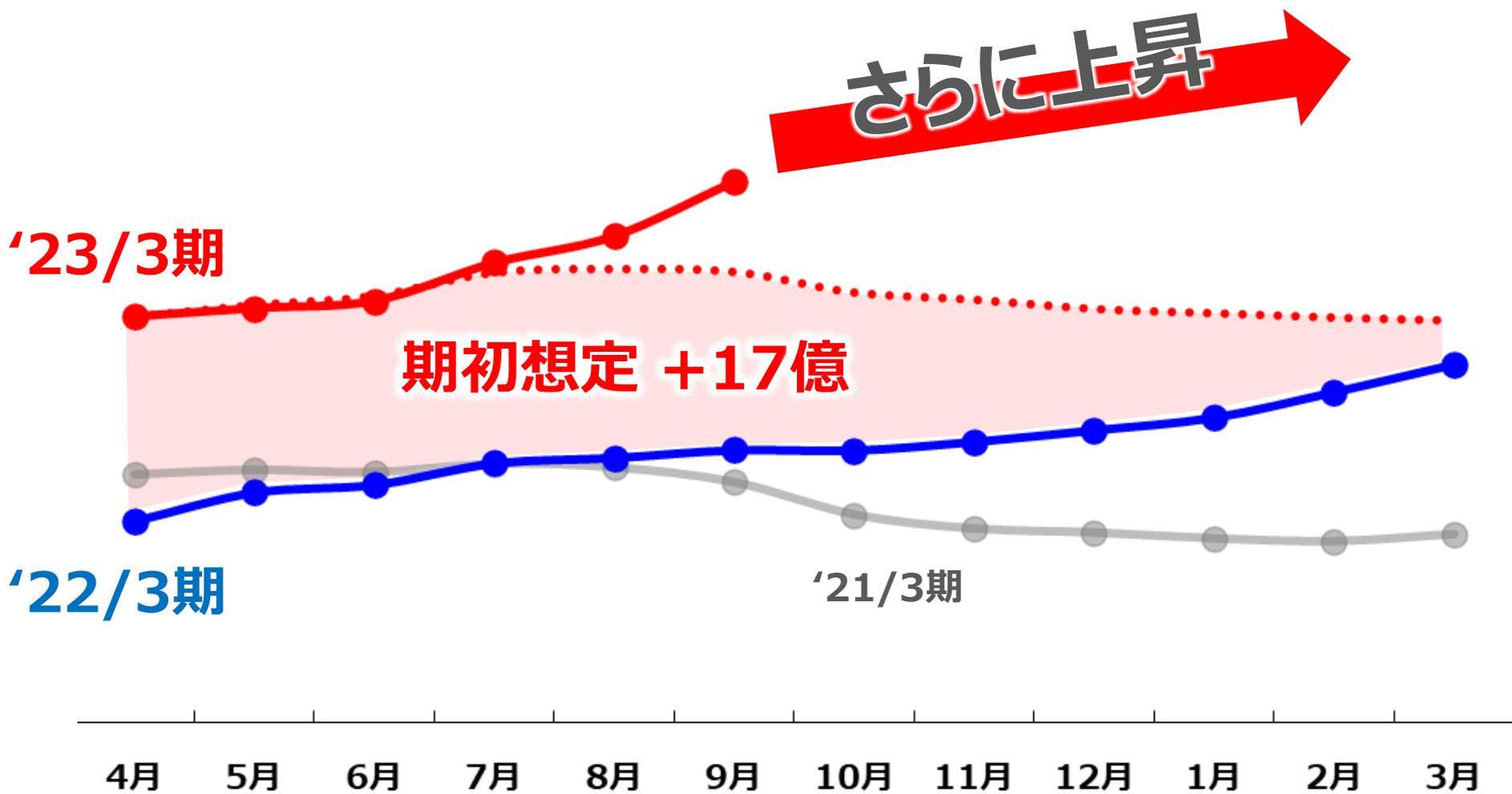
非発泡 → 発泡素材



透明蓋の薄肉化



電力価格の高騰



お客様の商品が売れるための提案

働き effect

旬の演出

鮮度感

ボリューム感

出来上りイメージ

値ごろ感

彩り・味わい



機能 function

オペレーションコスト改善

テープレス

ズレにくい

輸送効率・ライン適性

汁漏れしにくい

耐寒・耐熱・断熱



CO2削減効果

CO2排出量

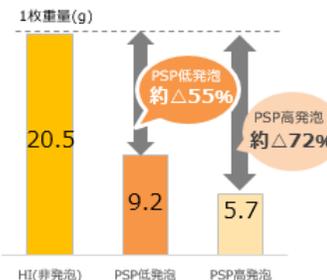
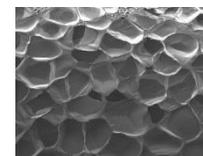
-30%



ICAPET



プラスチック使用量削減



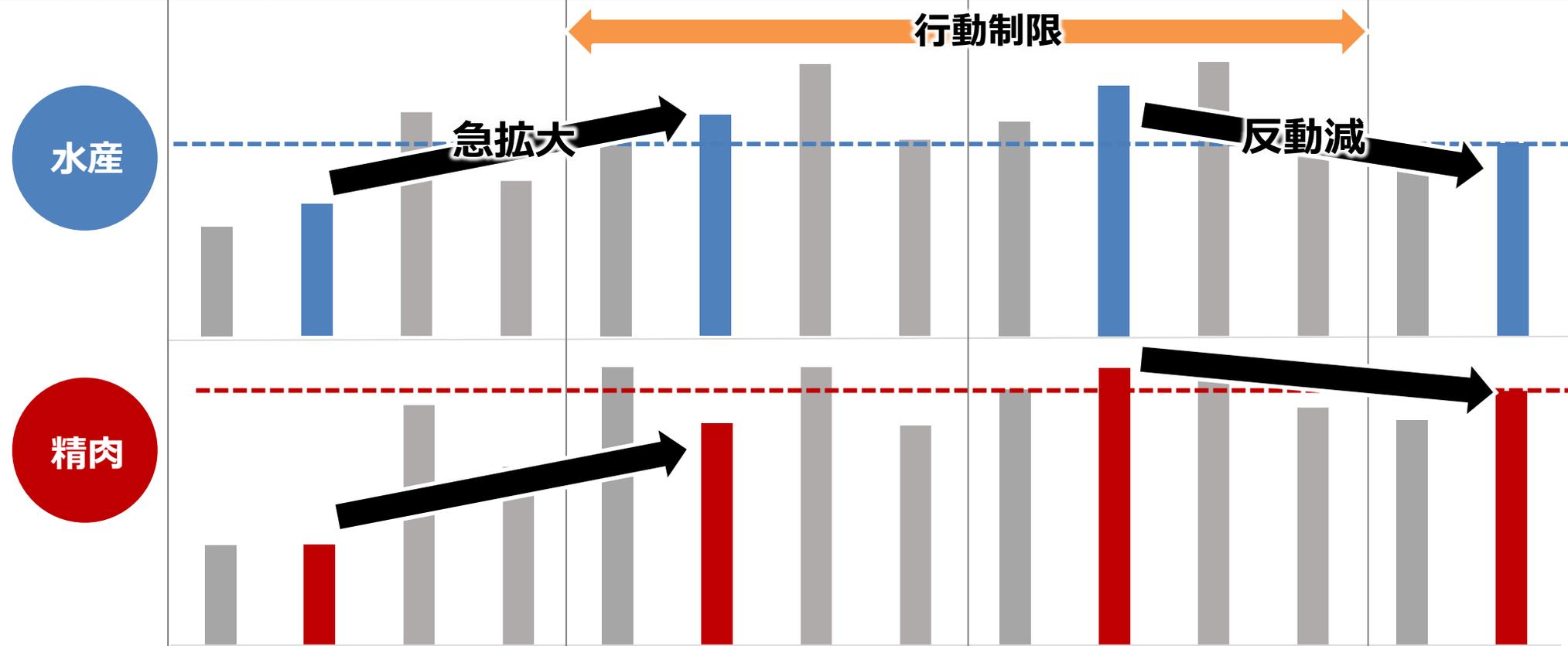
マーケットの状況



生鮮部門の動向

出所：一般社団法人日本スーパーマーケット協会（全店、売上高）

新型 コロナウイルス 規制措置期間	首都圏	2020年3月期				2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q		
		埼玉	千葉	神奈川	東京	京都	大阪	兵庫									
	埼玉					緊急事態宣言				まん延防止		緊急					
	千葉					緊急事態宣言				緊急		緊急					
	神奈川					緊急事態宣言				緊急		緊急					
	東京					緊急事態宣言				緊急		緊急					
	京都																
	大阪																
	兵庫																



テイクアウト・デリバリー市場拡大

出典：一般財団法人 日本惣菜協会「2022年版惣菜白書」
富士経済「外食産業マーケティング便覧2021」

外食

約18.2兆円 (2020年)

イエナカ外食

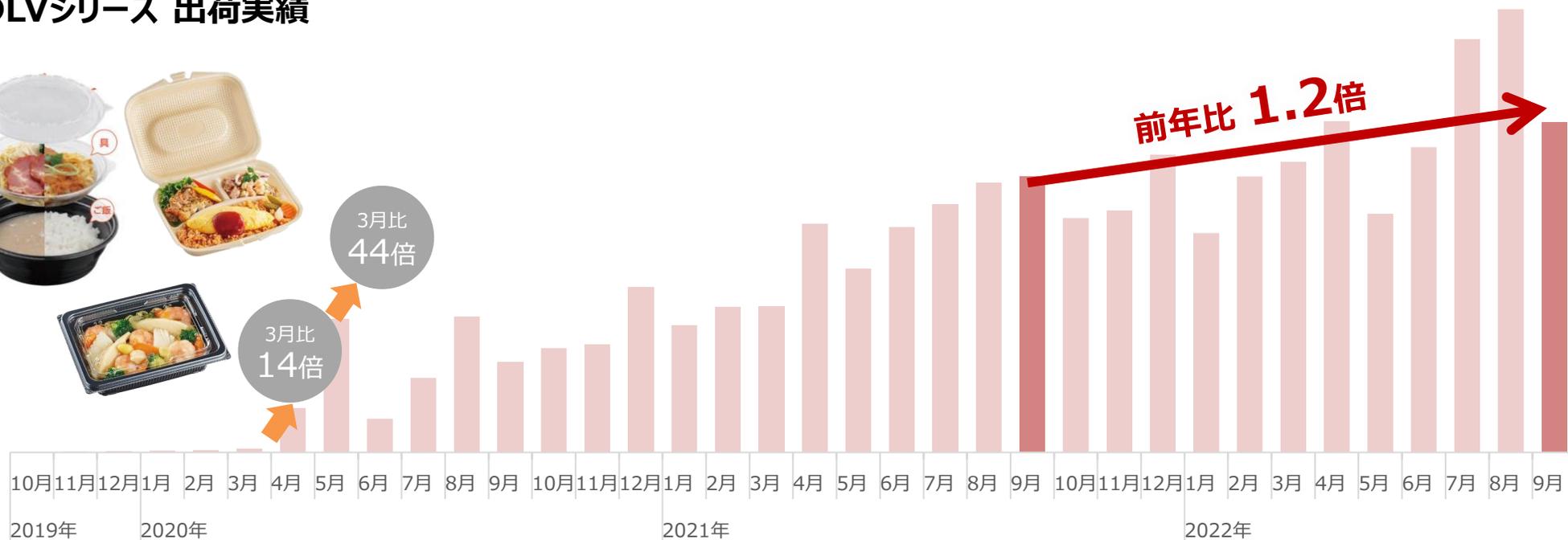
(2021年)

テイクアウト市場規模 約1兆4,500億円
デリバリー市場規模 約1兆1,800億円

中食

約10.1兆円 (2021年)

DLVシリーズ 出荷実績



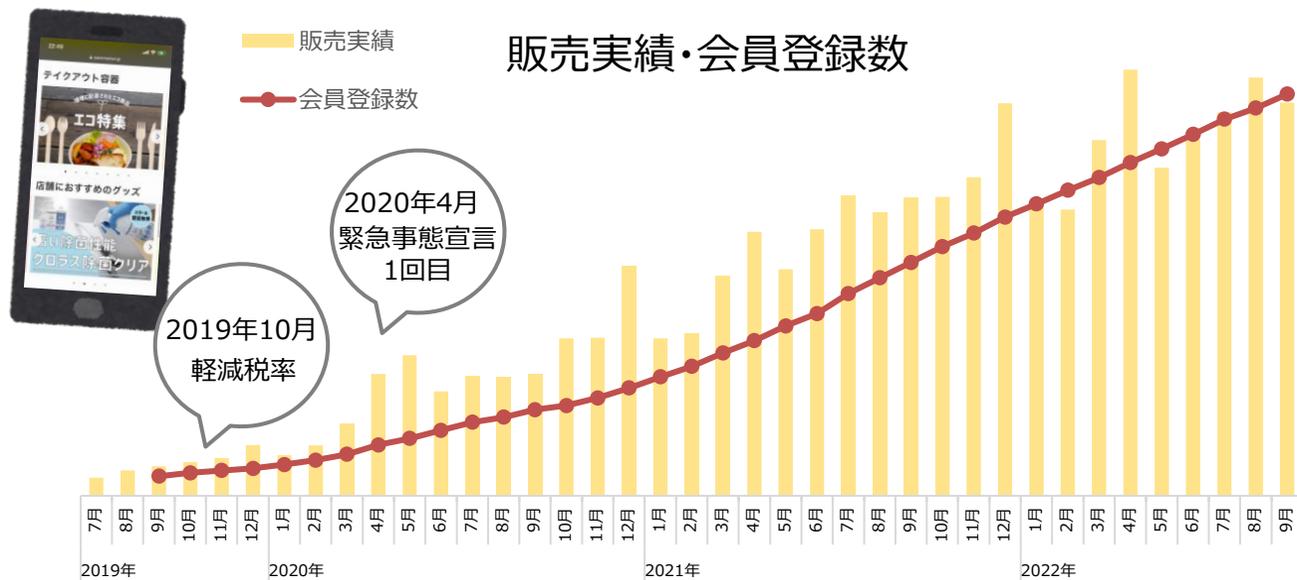
急成長

業態拡大

マーケット定着

新たな販路拡大

包装資材のECサイト「PackMarket」



月間売上 約**1.2**億円
 登録 約**13,300**アイテム
 うち、製品 約**7,700**アイテム
 (2022年9月末時点)

WEBマーケティング
 広告・SEO対策



SNSによる情報発信

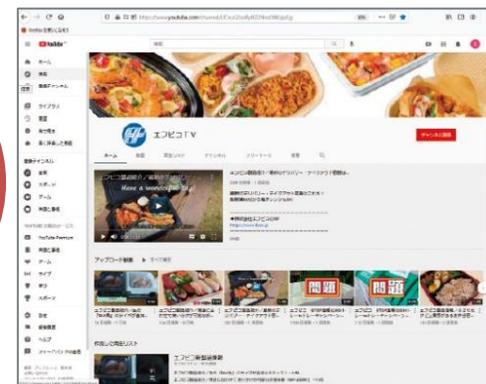
LINE



Instagram



YouTube



新たな販路拡大

エピコ商事

マーチャンダイジング

商品のMD力
・調達力



パック
マーケット PACK MARKET

×

エピコみやこひも

包装資材問屋・ユーザーに対する

販売力



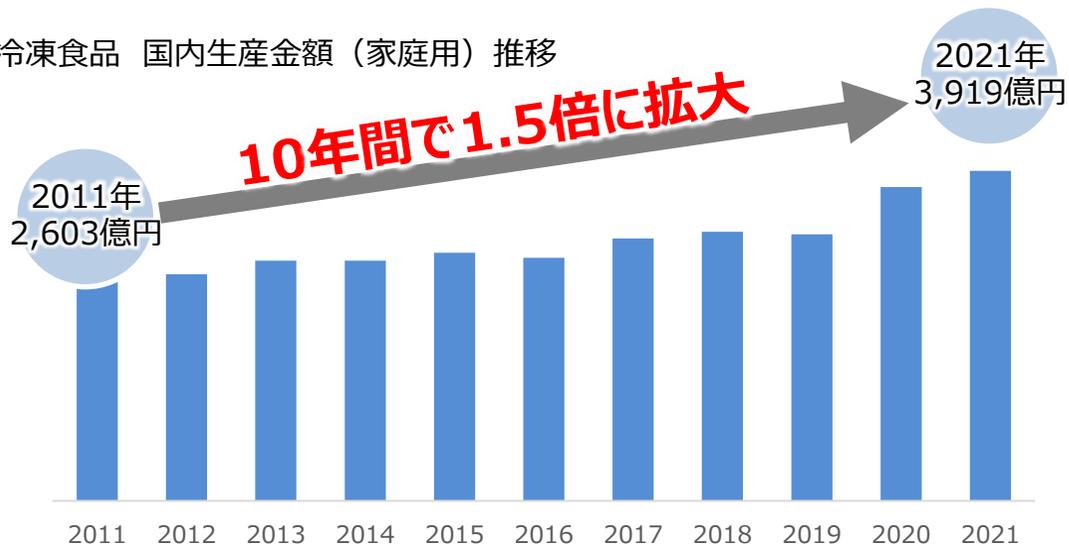
合併期日（効力発生日）
2022年7月1日

- ・資材消耗品の販売力強化
- ・全国の包装資材問屋との連携強化

冷凍市場拡大

出展：一般社団法人日本冷凍食品協会
 業界動向サーチ(<https://gyokai-search.com/3-chilled-food.html>)

冷凍食品 国内生産金額（家庭用）推移



冷凍技術の向上
 機械の小型化

人手不足

フードロス対策

従来

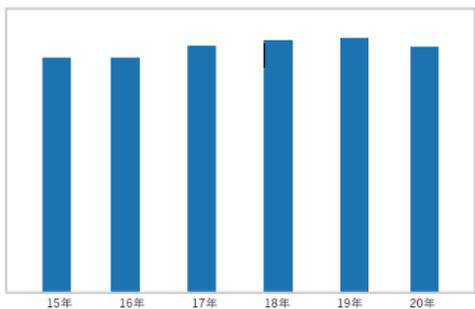


新規参入



大手NBメーカー
 （装置産業）

大手冷凍食品企業11社売上高合計



SMの変化

売り場拡充・PB商品化・
 包装形態が変わる



業態の変化

冷凍専門店が続々登場



販売手法の変化

冷凍自販機・EC



冷凍市場拡大

エコPET

耐寒性 冷凍時でも割れにくい

環境配慮 『エコマーク』『ペットボトルリサイクル品』を刻印



マルチFP

耐熱性・耐寒性 $-40^{\circ}\text{C} \sim +110^{\circ}\text{C}$ 対応

断熱性 加熱直後に手で持っても熱くない



耐寒PPi-タルク

強度 耐寒PPと同等

環境配慮 耐寒PPと比較しプラスチック使用量削減



最適な素材

三方袋 規格品上市

- 2022年8月～
- 3サイズ

熱シール



トップシール対応

- フラットな容器形状
- バケツ適性



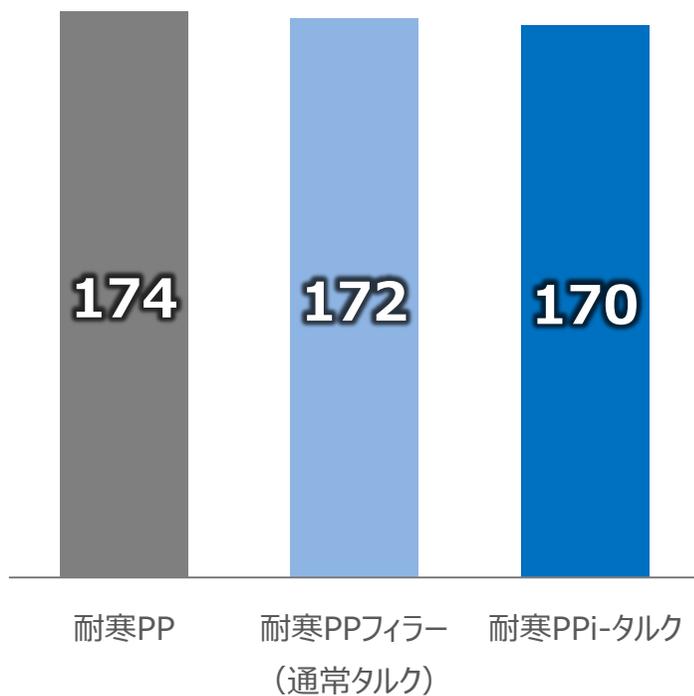
最適な包装形態

耐寒PPI-タルク

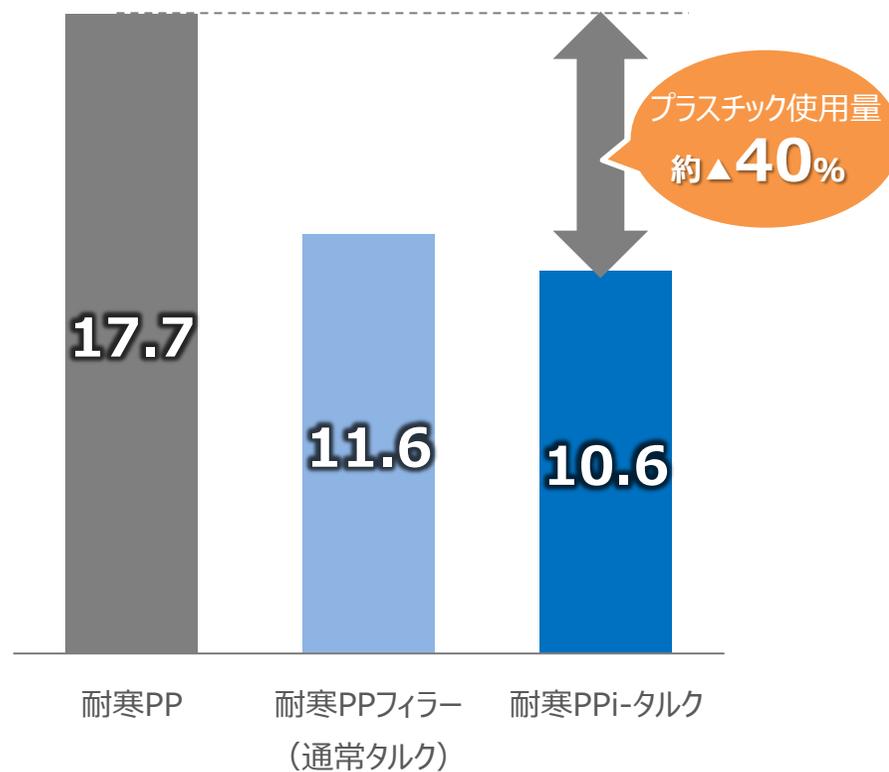
強度を維持しながらプラスチック使用量削減



容器強度(N)



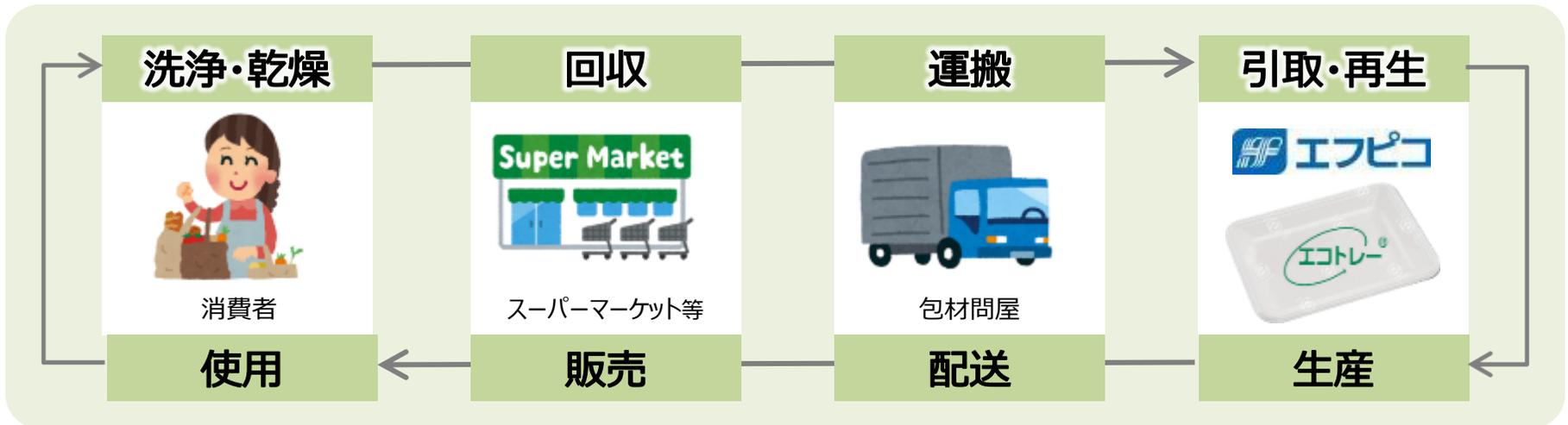
プラスチック使用量(g)



エコ戦略



エフピコ方式のリサイクル



歴史

- 1980年 広島ゴミ問題
- 1990年 米国 マクドナルド不買運動
- 1990年 エフピコ方式のリサイクル開始**
- 1992年 「エコレー」の販売開始**
- 1995年 容器包装リサイクル法制定
- 1997年 京都議定書
- 2008年 透明容器のリサイクル開始**
- 2011年 PETボトルのリサイクル開始**
- 2012年 「エコAPET」の販売開始**
- 2015年 パリ協定
- 2021年 プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律制定

容器包装から紙包装へ変更

導入当初 **6店舗** 回収拠点

福山市・大阪市からスタート

約**30年**

2022年9月末時点 **約10,300拠点**



エコ製品の消費者への訴求①



売り場



トレーの回収にご協力をお願いします。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

CO₂排出 **30% 低減**

地球温暖化防止のために

リサイクルトレー

を積極的に利用しております。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

SDG 12 13 14 15

私たちは持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています

このお店で回収された
ペットボトルを透明容器に
リサイクルしています

Recycle-Loop
リサイクルループ

EcoPET

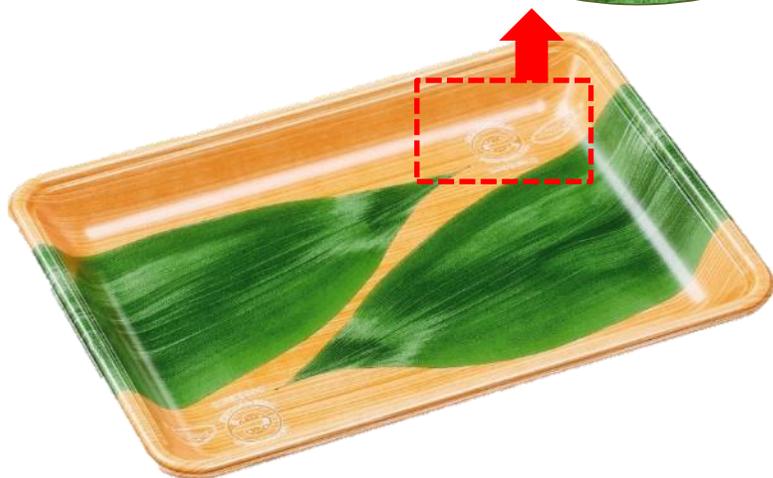


エコ製品の消費者への訴求②



環境に配慮した製品であることをわかりやすくするため
エコ製品に「**エコマーク**」「**ペットボトルリサイクル品**」を表示刻印。

エコトレー



エコトレー全製品に表示済み

エコAPET・エコOPET



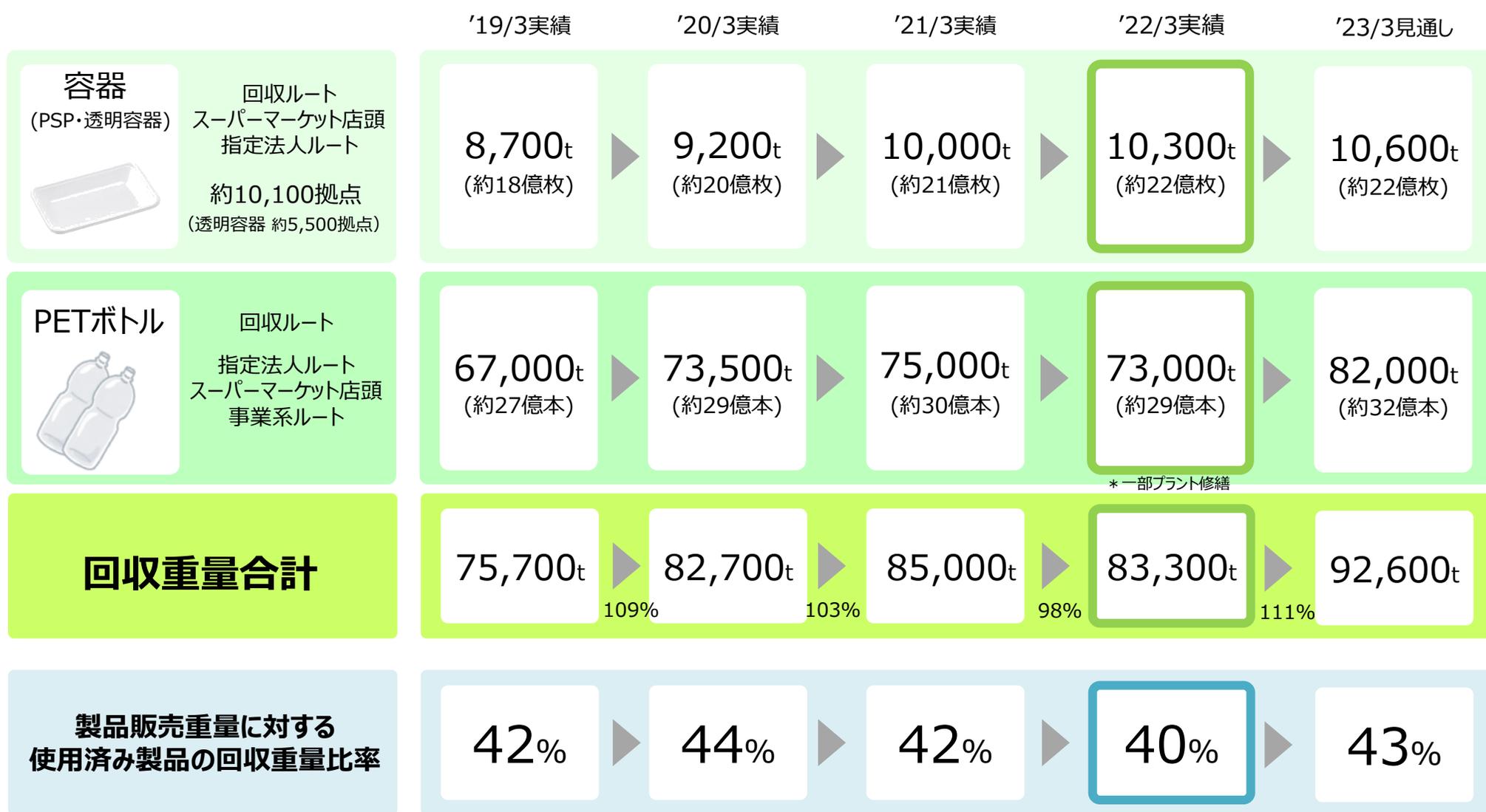
売れ筋製品より順次刻印追加

プラスチック資源の回収



※枚数・本数換算は、標準的なグラム数にて算出
 発泡トレイ：約4g、透明容器：約10g、PETボトル：約25g

回収重量



回収量増加・品質向上に向けて



回収BOX設置のご協力



回収拠点

約**10,300**拠点

うち、透明容器

約**5,500**拠点

(2022年9月末時点)

品質向上の啓発活動



店長メッセージ



きれいに洗って入れてくださると
大変助かります！
いつもありがとうございます！

気候変動対応 エコ製品によるCO2排出量削減



CO2排出量

-30%



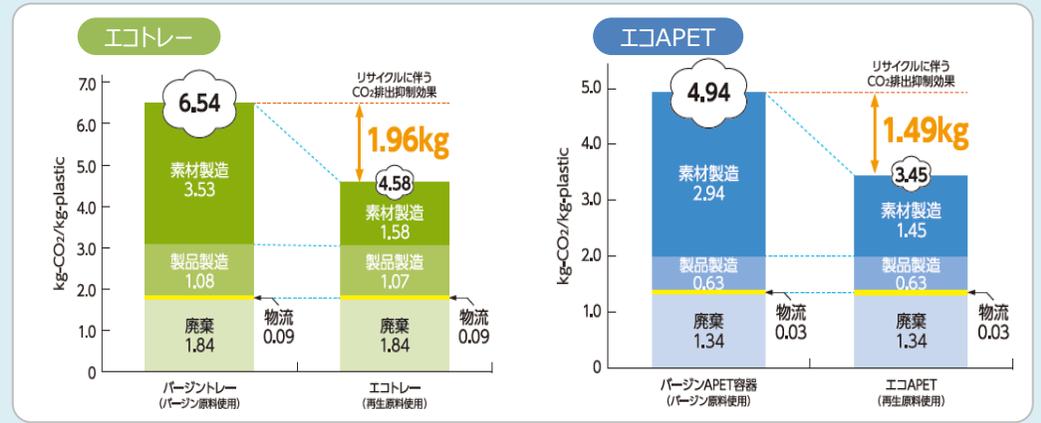
エコトレー

エコAPET

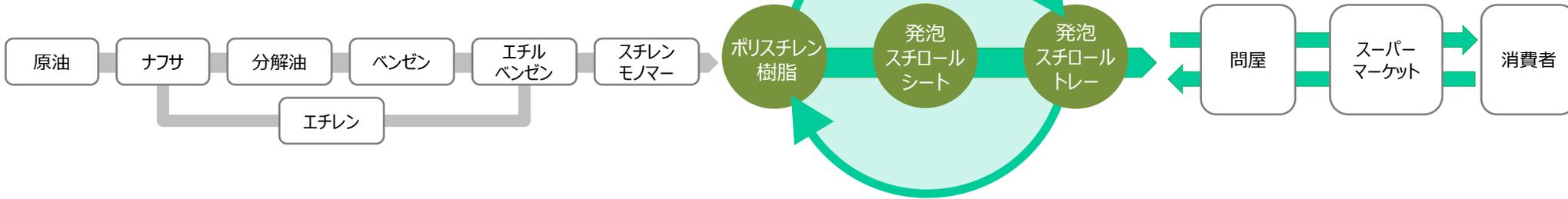
2022年3月期 CO2排出量

年間17万t 削減

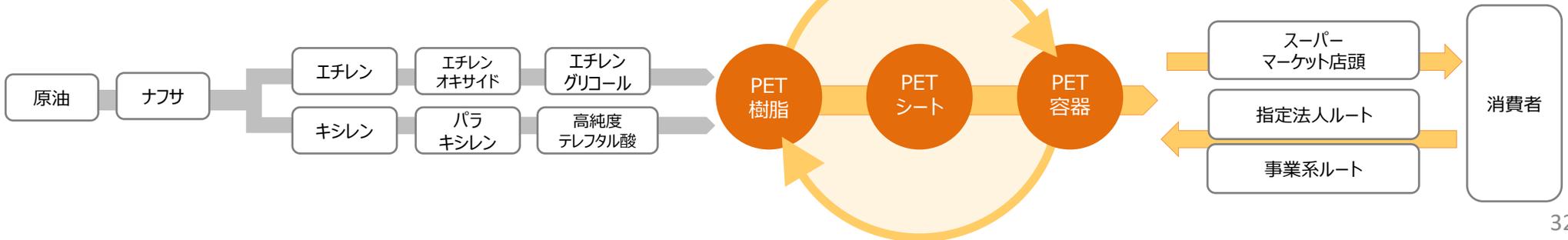
(エコトレー 4.1万t/エコAPET 8.9万t/エコOPET 4.1万t)



トレーtoトレー



ボトルtoトレー



CO₂削減ポスター



全国掲示事例

(2022年9月末時点)

約6,120店舗

イオングループ様 ポスター掲示例

2016年2月期



5年間で
CO₂削減
+約**6,250t**

2021年2月期



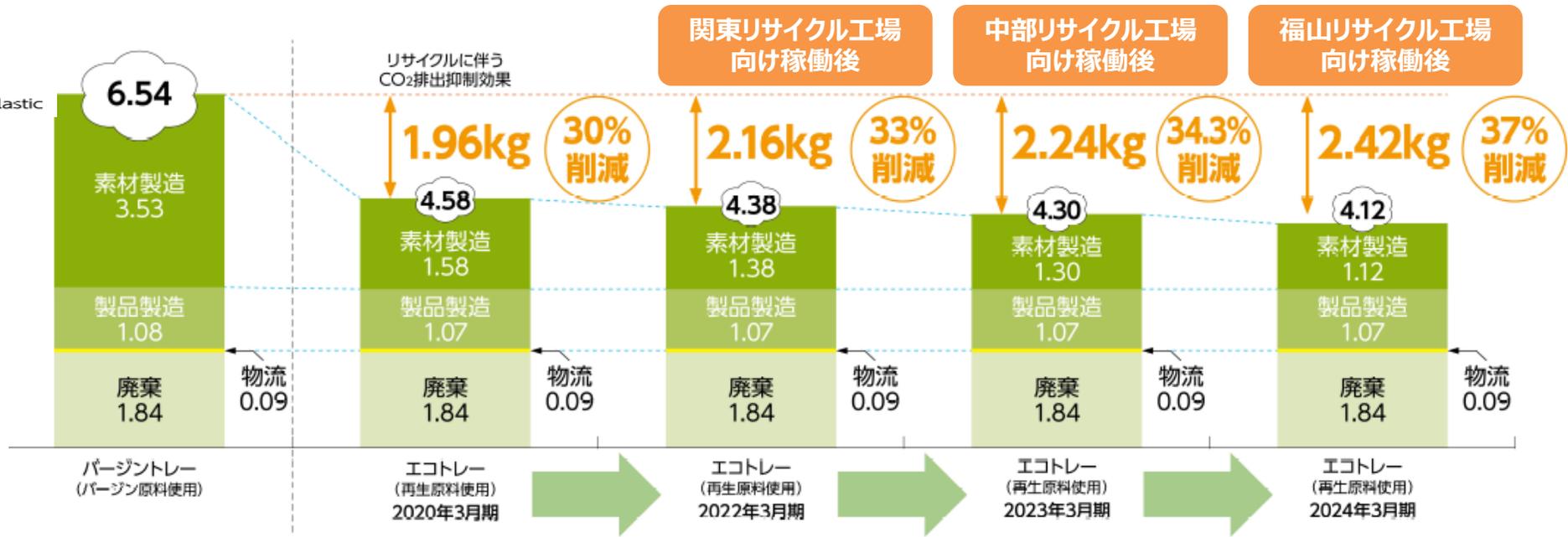
太陽光発電の協業によりCO₂削減効果拡大へ



バージントレー

エコトレ

kg-CO₂/kg-plastic



関東リサイクル工場向け
2022年3月 運転開始



中部リサイクル工場向け
2022年10月 運転開始



福山リサイクル工場向け
2023年夏 運転開始予定



再生原料製造工程の CO₂ 排出量ゼロを目指す

TCFD 提言への賛同表明

TCFD：気候関連財務情報開示タスクフォース

(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)

- ☑ G20の要請を受け、金融安定理事会によって設置された特別組織。
- ☑ 企業等に対し、気候変動関連のリスクと機会についての開示を推奨。

ガバナンス

推進体制と監視体制

戦略

シナリオ分析の実施

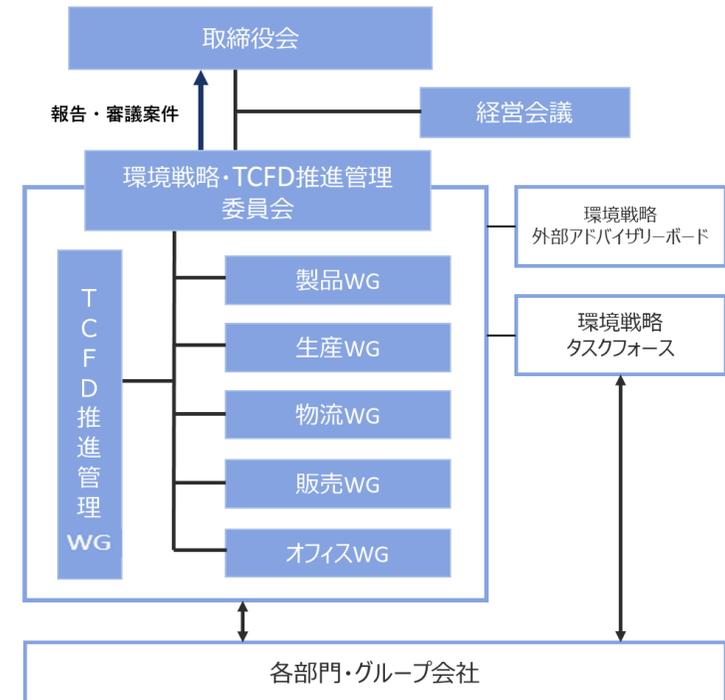
リスク管理

全社的リスク管理との統合

指標と目標

中・長期環境目標

(推進体制) エフピコ・エコアクション2.0



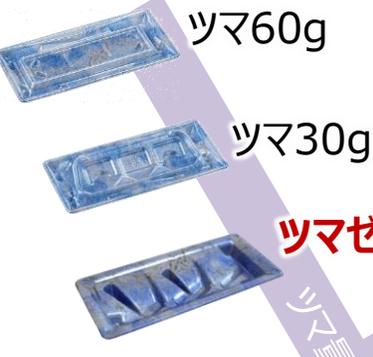
小売関連各社 定量的環境目標を設定

調査企業184社うち、78社 定量的環境目標を設定

(2022.7当社調べ)

	CO ₂ 排出量の削減	プラ使用量の削減	環境配慮素材の選択	食品ロスの削減
SM A社	CO ₂ は2050年にグループの店舗運営に伴う排出量実質ゼロ。		プラスチックは2050年にオリジナル商品で使用する容器は、環境配慮型素材100%使用。	
SM B社	店舗で排出するCO ₂ 等を総量でゼロ、2030年までに店舗使用電力の50%を再生可能エネルギーに切り替え。	事業活動で使用する使い捨てプラスチックを2030年までに2018年比で半分に減らすというグループ全体目標に先駆け、2025年までに完了する目標		
SM C社	2030年までにCO ₂ 排出量30%削減(2013年度比)	2030年までにプラスチック製容器包装80%削減(2018年度比)		2030年までに食品ロス50%削減(2018年度比)、食品リサイクル率70%。



<p>エフピコ</p>	 <p>エコトレ® EcoPET®</p>	 <p>輝皿 (HIPS) 輝ステージ (低発泡) 大波皿 (高発泡)</p> <p>削減目標</p>	 <p>エコトレ® EcoPET® バイオマスプラスチック 紙素材</p>	 <p>ツマ60g ツマ30g ツマゼロ</p> <p>削減目標</p>
-------------	--	--	--	--

素材の多様化 及び リサイクル技術の研究

新素材

バイオマスプラスチック
(植物由来)



紙・パルプモールド

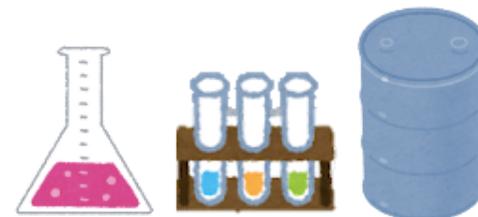


リサイクル技術

マテリアル
リサイクル



ケミカル
リサイクル

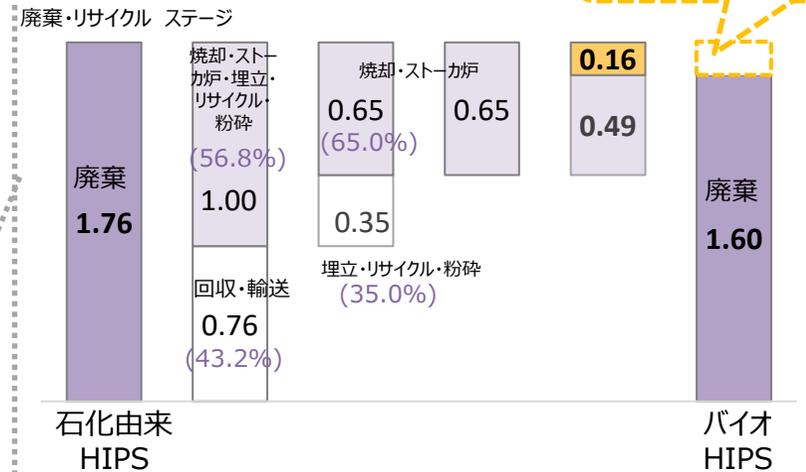
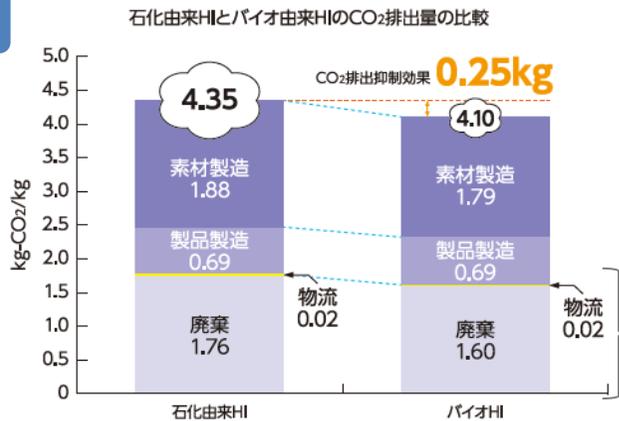


バイオマスプラスチック製品 CO₂削減

- ☑ バイオHIPS・バイオPPF 2020年6月上市
- ☑ 植物由来原料 25%使用 / 日本バイオプラスチック協会 認定登録

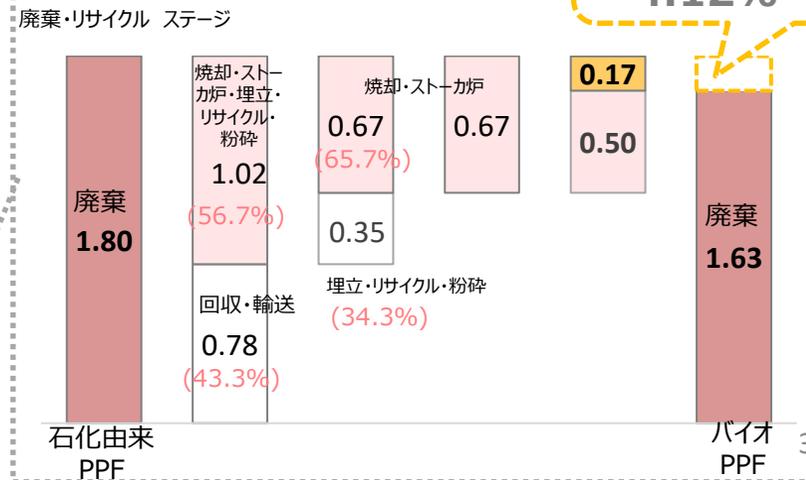
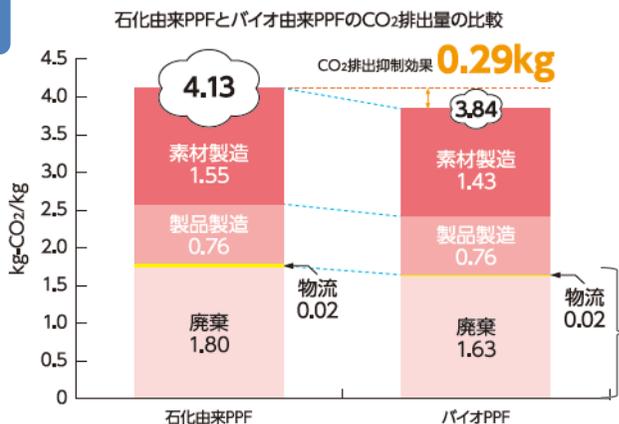
バイオHIPS

CO₂排出量
-5.75%



バイオPPF

CO₂排出量
-7.02%



紙トレイ・紙容器の開発



紙トレイ



FSC®認証紙を使用



FSC®CoC認証
(FSC®C163782)を
全事業所及び紙トレイ
製造工場にて取得済み

※ミックスラベル：適切に管理されたFSC®認証林、再生資源
およびその他の管理された供給源からの原材料で作られています。

耐水・耐油仕様



ラップ包装機に対応



紙丼
シリーズ



紙弁当容器
(竹紙)

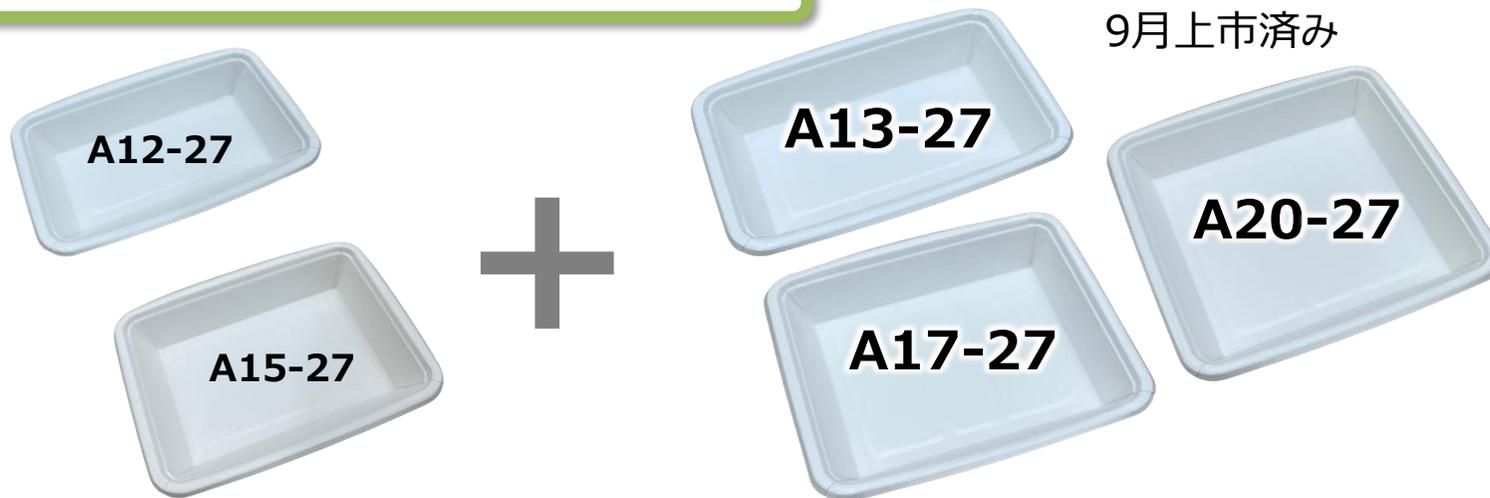


(本体)

(蓋)

紙トレイ・紙容器の開発

紙トレイ 3サイズ追加



※横幅はすべて196mm

寿司容器（竹紙）2サイズ上市

米国スーパーマーケットにて採用決定
国内でも規格品として上市予定

本体：竹紙
蓋：EOPET（大波皿 既存蓋）

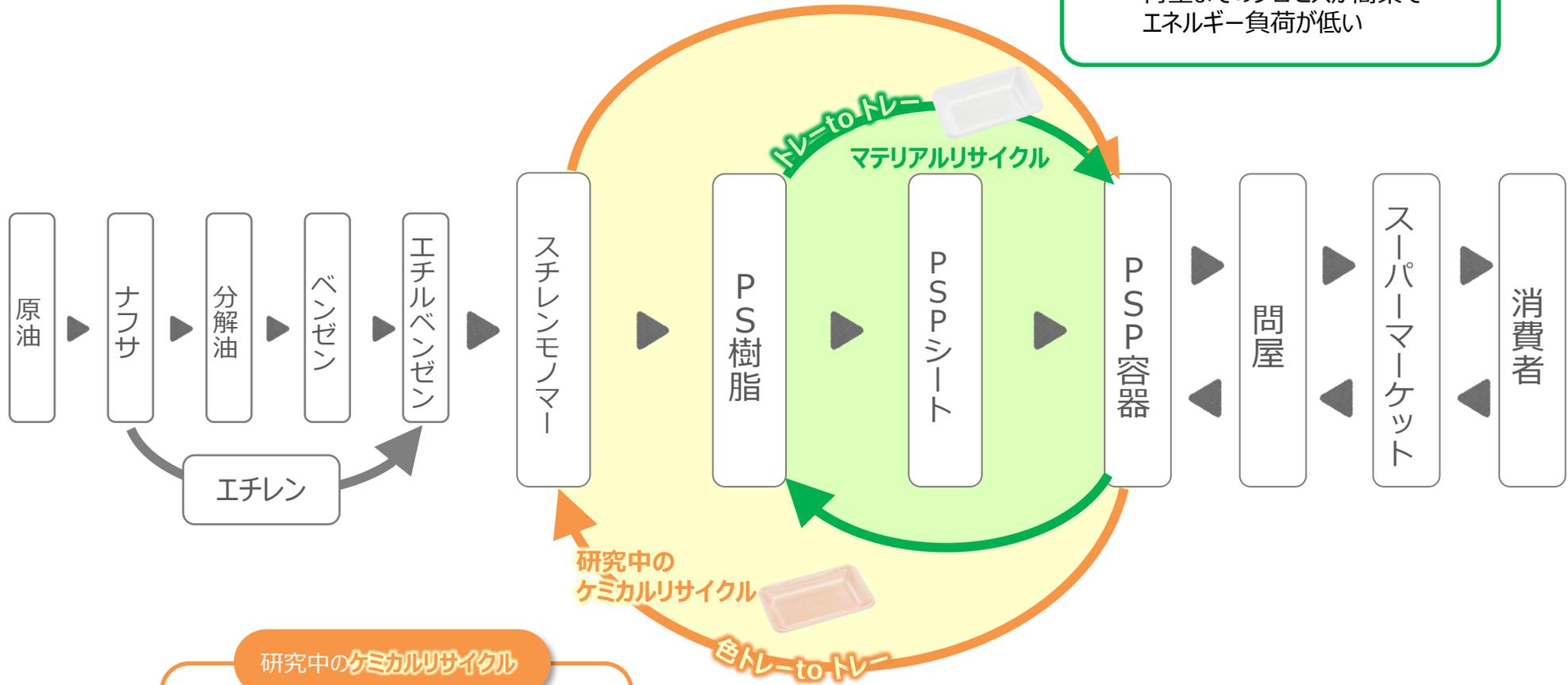


DIC様と協業検討中) ケミカルリサイクル



マテリアルリサイクルのいいところ

再生までのプロセスが簡素で
エネルギー負荷が低い



研究中のケミカルリサイクル

- 除染能力が高い
- スチレンモノマーに戻すケミカルリサイクル
なのでエネルギー負荷が低い

DIC様と協業検討中) 溶解分離リサイクル



回収～ペレット化

各種リサイクル手法

再利用



マテリアル
リサイクル



溶解分離
リサイクル
(Dic法)



ケミカル
リサイクル
(モノマー還元)



マテリアル
リサイクル

黒色のプラスチック成形品



能力を最大限に活かすダイバーシティ経営

選別

使用済み食品トレー、透明容器、PETボトル



製造

食品トレー容器の成形、組立加工、検品、包装



職域拡大への挑戦



エフピコグループ内の一般工場、物流の現場

特例子会社(エフピコダックス)・就労継続支援A型事業所(エフピコ愛パック)

2022年3月時点エフピコグループ

障がい者雇用人数 : 365名

障がい者雇用率換算数 : 621.5名

障がい者雇用率 : 12.6%

障がい者雇用に関する認定

- 2019年1月 (厚労省)
「H30年度 障害者活躍企業」認証
(エフピコダックス(株))
- 2022年9月 (東洋経済新報社)
「障害者雇用率ランキング」 2位
- 2022年6月 (厚労省)
「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定 (もにす認定)」 (エフピコダックス(株))



SDGs お客様の障がい者雇用をサポート



エピコのサポートで
お取引様を中心に

51事業所 760名

の雇用が生まれました

2022年9月末時点

精肉の下味付け



農産品の加工



青果の検品・計量



惣菜加工



コンテナ洗浄



タオルの洗濯



海産物選別



古紙減容



フロアホッケー活動 障がいの有無を超えた交流



第17回 全日本フロアホッケー競技大会



フロアホッケー活動 に関する受賞・認定・登録

- 2019年3月 (東京都)
「心のバリアフリー」サポート企業として登録
- 2018年12月 (スポーツ庁) 継続認定
「スポーツエールカンパニー」認定
- 2018年11月 (東京都) 継続認定
「東京都スポーツ推進企業」認定
- 2018年2月 (東京ボランティア・市民活動センター)
第3回「企業ボランティア・アワード」受賞



SDGs エフピコ環境基金の創設



1990年 「エフピコ方式のリサイクル」をスタート
約30年に渡りリサイクルに取り組み。

2020年3月「エフピコ環境基金」を創設
これからの社会的課題の解決をテーマに
活動する団体へ助成

各企業・NPO法人・研究教育機関等と協力して対処していく

助成先団体の活動（一部紹介）

エフピコグループ社員延べ**188名**もボランティアとして参加

(2022年7月末時点)

荒川クリーンエイド・フォーラム（東京都）



<活動内容>
海洋ごみ問題解決のための
荒川の清掃体験教育

<社員参加人数> 26名

湘南クリーンエイドフォーラム（神奈川県）



<活動内容>
神奈川県自然海岸の
ビーチクリーン活動

<社員参加人数> 47名

簡易食品容器 寄贈

対象： NPO法人全国子ども食堂支援センター・むすびえがサポートする
全国子ども食堂および全国子ども食堂の地域ネットワーク



寄贈： **合計 752,280セット**

1回目 (2020年 5月29日～)	60,800セット
2回目 (2020年 7月25日～)	81,600セット
3回目 (2020年 9月30日～)	81,600セット
4回目 (2020年12月17日～)	80,000セット
5回目 (2021年 3月 6日～)	80,000セット
6回目 (2021年 9月 1日～)	92,000セット
7回目 (2021年10月27日～)	92,000セット
8回目 (2022年 1月31日～)	92,000セット
9回目 (2022年 4月12日～)	92,280セット

神戸物産

ネスレ日本

はごろも
フーズ

エフピコ



SDGs ESG評価

フットイー
ESG指数「FTSE4Good Index Series」及び
「FTSE Blossom Japan Index」の構成銘柄に継続選定（2021年6月）
「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」に初選定（2022年3月）



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index

ロンドン証券取引所グループの「FTSE Russell」が開発した、環境・社会・企業統治（ESG）に対して優れた対応を行っている企業のパフォーマンスを反映するインデックス

「MSCI日本株女性活躍指数（WIN）」の構成銘柄に選定（2021年12月）

2022 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

「MSCI」社が開発、職場において高いレベルで性別多様性を推進する企業を対象に構築

安定供給



安定供給 – 安全・安心な食生活を支える

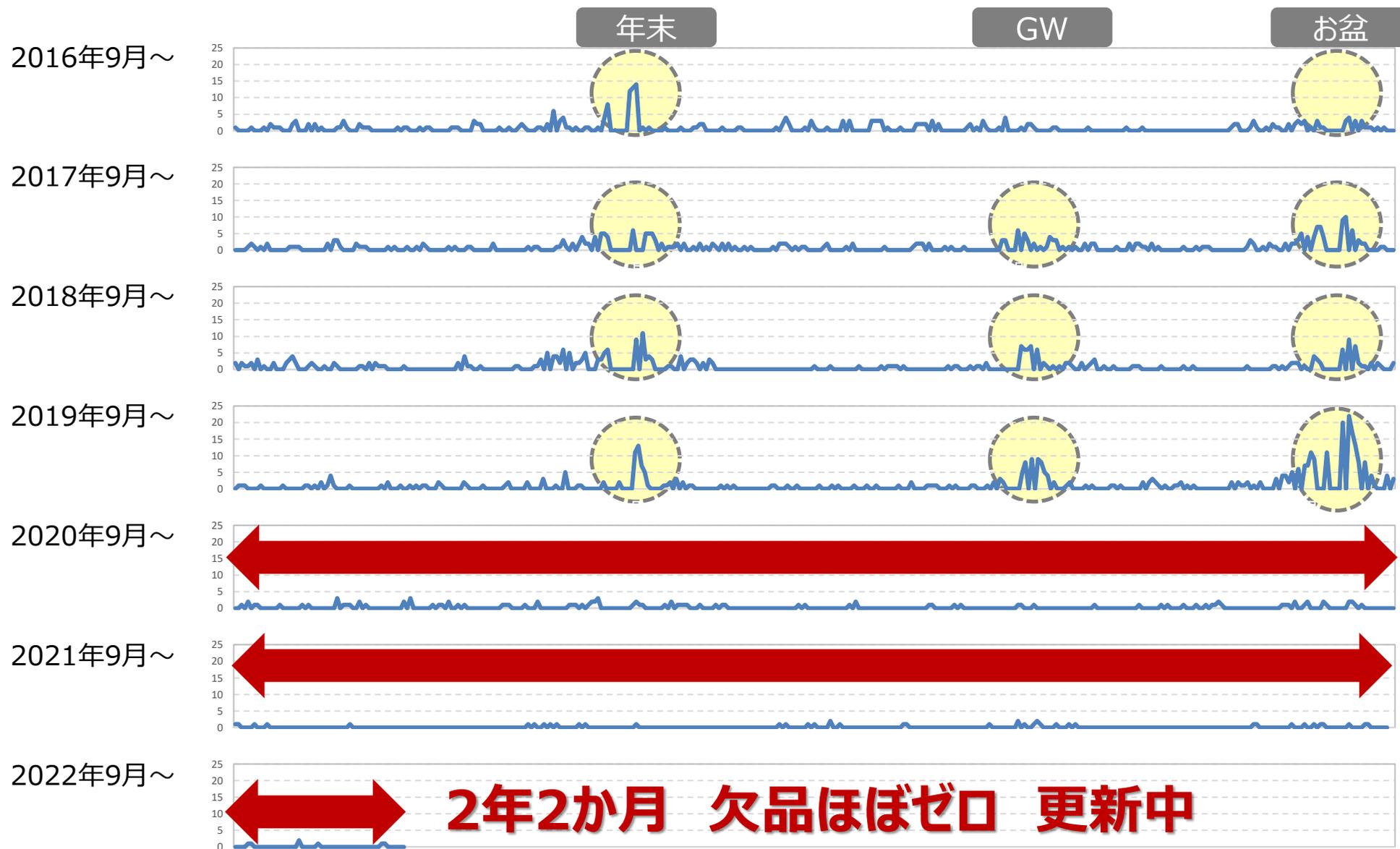
☑ 約12,000アイテムの品揃え

☑ 適正な在庫水準を維持

サプライ・チェーン・マネジメントシステムの力



安定供給 - 欠品件数の推移



物流費上昇を抑制する取組み (販売配送)

自社便比率UP

2022年9月

97.7%

1台あたりの積載効率UP

2023年3月期上期
2016年3月期上期比

111.0%

(才数/台)

< 1台あたりの積載効率 >

'23年3月期

'22年3月期

'21年3月期

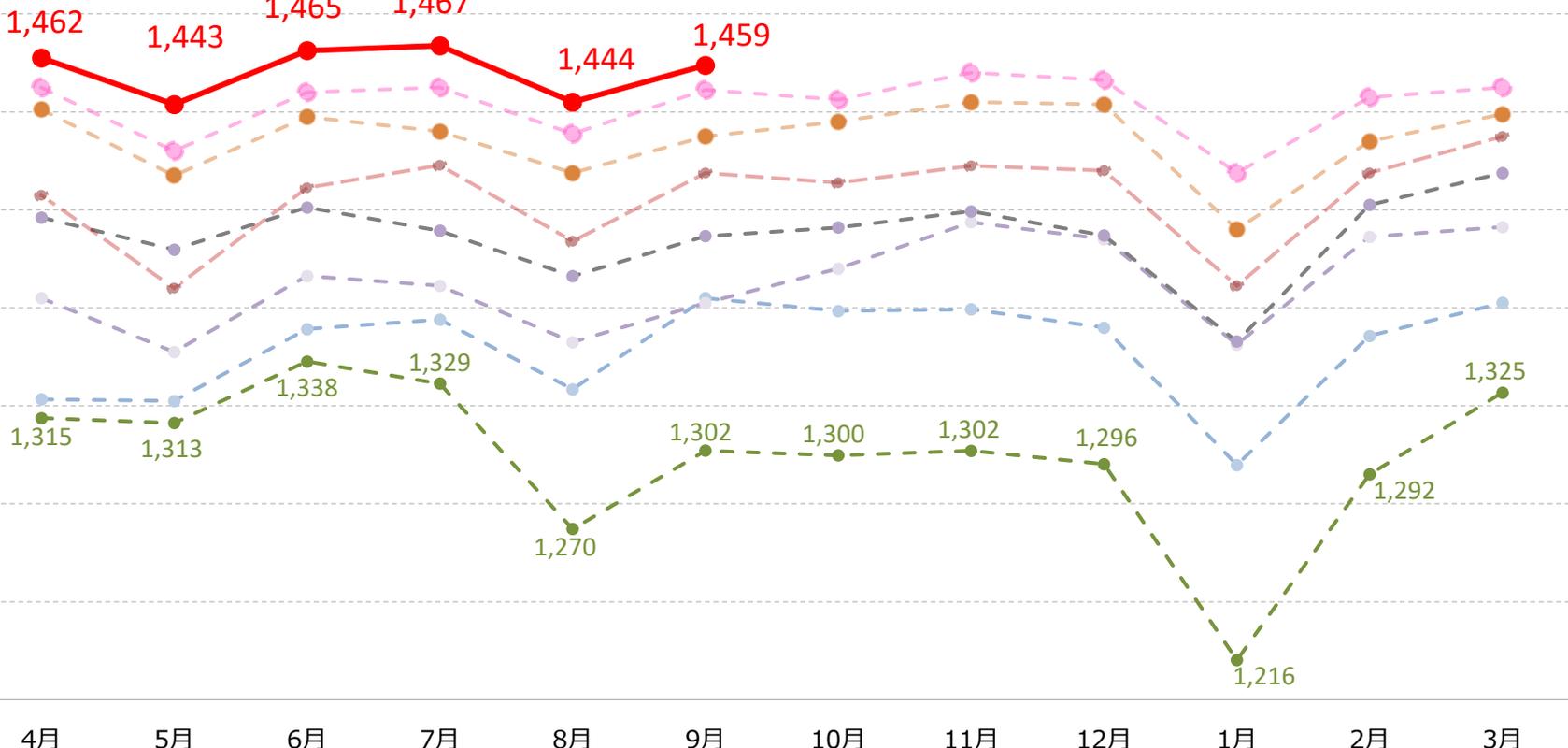
'20年3月期

'19年3月期

'18年3月期

'17年3月期

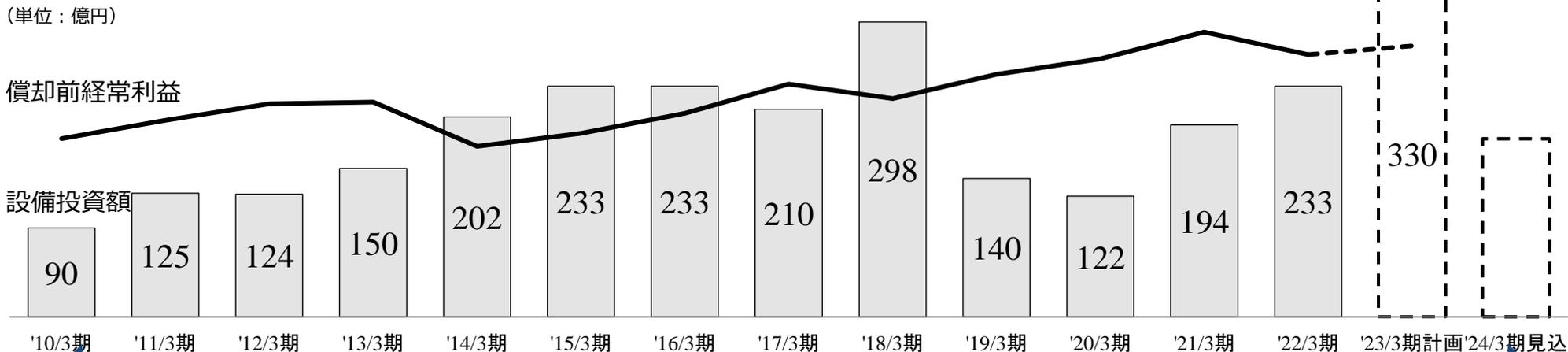
'16年3月期



戦略投資



エピコの戦略投資



年間約200億円の投資水準

世界初の素材開発

- 2010年 マルチFP製品 上市
- 2012年 マルチソリッド製品 上市
- エコAPET 製品 上市
- OPET 製品 上市
- 新透明PP 製品 上市
- 2014年 PPi-タルク 製品 上市
- 2022年 耐寒PPi-タルク 製品 上市

生産・リサイクル強化

- 2012年 関東八千代工場
- 2016年 中部エコペット工場
- 2017年 関東エコペット工場
- 2018年 エピコアルライト工場
- エピコグラビア工場
- 2022年 中部第一工場
- 2023年 関西工場

物流網強化

- 2014年 福山クロスドックセンター
- 八王子HC
- 2020年 九州HC拡充
- 福山ハブセンター拡充
- 2021年 中部クロスドックセンター拡充
- 2023年 関西ハブセンター

人への投資

- 2014年 総合研究所・人材開発研修センター
- 2018年 広島営業所
- 2019年 エピコインターパック本社
- 单身寮PicoHouse(総戸数:473戸)
- 2017年 1号館(150戸)
- 2号館(102戸)
- 2020年 3号館(63戸)
- 4号館(18戸)
- 2022年 5号館(140戸)

電子レンジ・冷凍市場拡大

ESG投資拡大

路線便値上がり

人手不足

中部第一工場稼働



稼働時期：2022年5月
投資額：8,530百万円
(圧縮記帳後 6,301百万円)
延床面積：20,810.61㎡

最新の自動化設備を導入

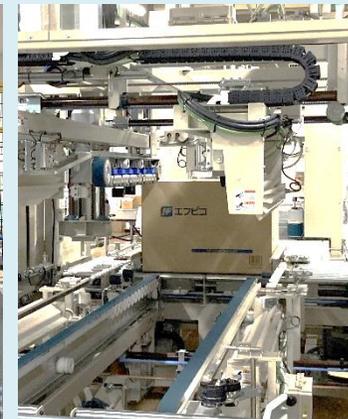
原料の受入

ラインへの供給

成形

包装・梱包

入庫



関西新拠点（関西工場・関西ハブセンター）



半径150kmで主要都市を含む
全人口の7割をカバーできるネットワークが完成



建屋完成：2022年9月
稼働予定：2023年2月
投資額：252億61百万円
延床面積：79,511.10㎡

福山エリアより物流・生産能力約3割移行

2022年9月 産業団地内の別区画を追加取得
土地取得額：940百万円
敷地面積：29,136.58㎡

茨城県内の工場・配送センター建設用地取得



関東下館工場 (筑西市)



筑西工場 (筑西市)

関東工場・関東エコバット工場・関東リサイクル工場
関東八千代工場・関東ハブセンター (八千代町)



関東つくば工場 (下妻市)

関東第3センター (坂東市)

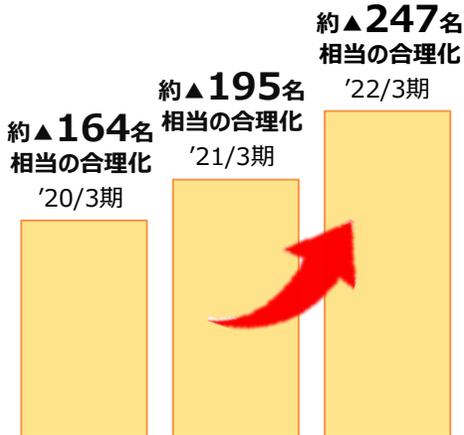
坂東インター工業団地 (坂東市)

土地取得額 : 1,036百万円
敷地面積 : 51,819.61m²

- ・中長期的な生産能力・保管能力の確保
- ・既存拠点のバックアップ機能

人への投資① 自動化

生産部門



- ケース梱包ロボット 22台
- 自動除塵包装機 8台
- 自動包装機 95台 → **110台**
'22/3期 '23/3期見込

物流部門



AGV (無人搬送車)
29台
'22/3期



AGF (無人搬送フォークリフト)
2台導入 → **6台導入**
'21/3期 '23/3期見込

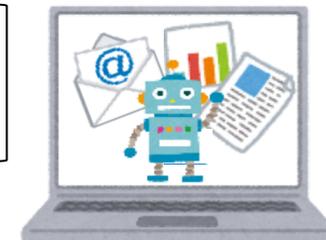
SCM部門



情報システム

年間 約**31,000**時間削減
'22/3期

- プログラム開発 約**15,000**時間
- RPA活用 約**13,000**時間
- 既存機能・業務見直し 約**3,000**時間



人への投資② 働く環境整備

单身寮PicoHouse



完成時期：2022年9月
所在地：兵庫県小野市

PicoHouse1～5号館 総戸数 473戸

障がい者グループホーム



完成時期：2020年4月
所在地：広島県福山市
「ホーム・COパール」

<見取り図> 1階



地域の学習支援・療育支援などに活用予定



利用者の共同生活住居



女性活躍推進

1. 2022年以降、採用の女性比率について**総合職30%以上**を目指す
2. 2026年までに**女性管理職を50人**にする（うち課長職以上を5人以上）
3. 2026年までに**男性の育児休業の取得率を30%以上**にする



健康経営の推進

2022年3月

「健康経営優良法人(大規模法人部門)」認定取得



2022
健康経営優良法人
Health and productivity

成長戦略



エフピコの成長戦略

長期目標 売上 **3,000**億円
 経常利益 **300**億円

'23/3計画 売上 **2,120**億円
 経常利益 **170**億円

商品

+600億

包装資材全般

製品

+400億

新市場(デリバリー・給食・冷凍など)
 シェア増

リサイクルおよび代替素材の研究開発

紙・パルプモールド



ケミカルリサイクル

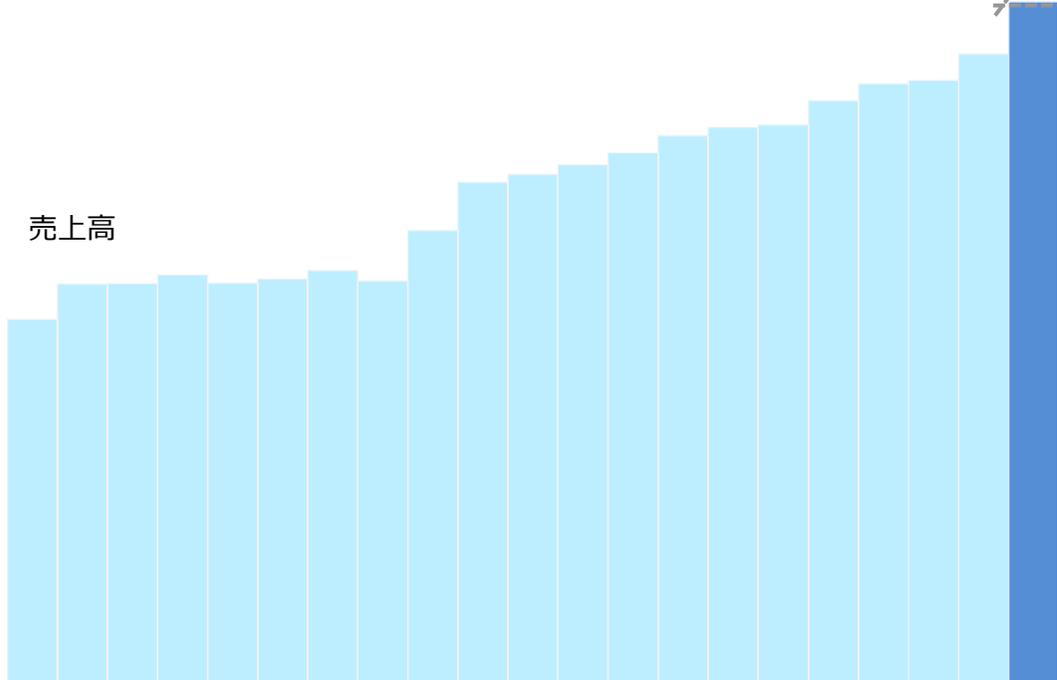


バイオマスプラスチック
 (植物由来)



M & Aの検討

売上高

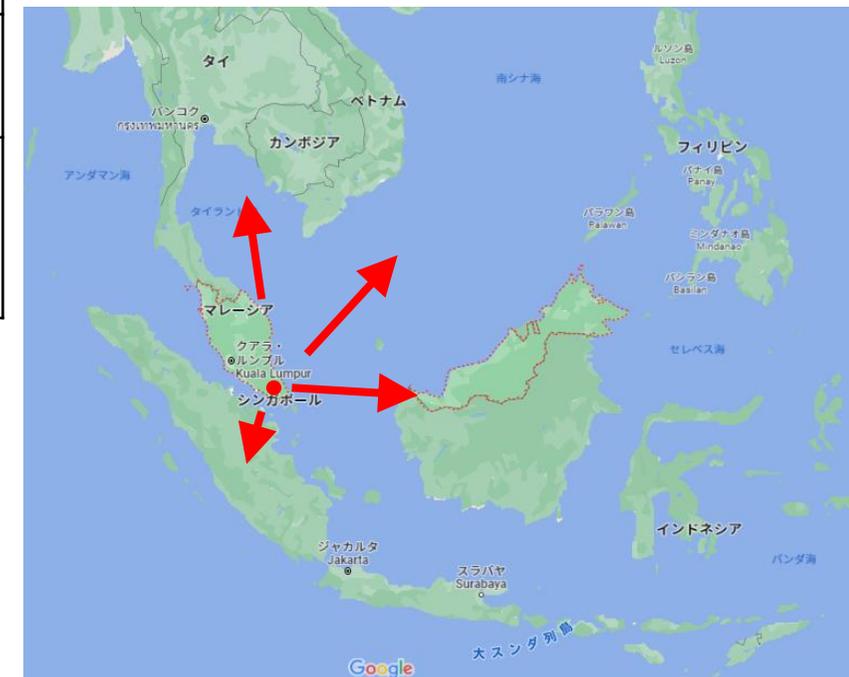


'03/3期 '06/3期 '09/3期 '12/3期 '15/3期 '18/3期 '23/3期計画 長期目標

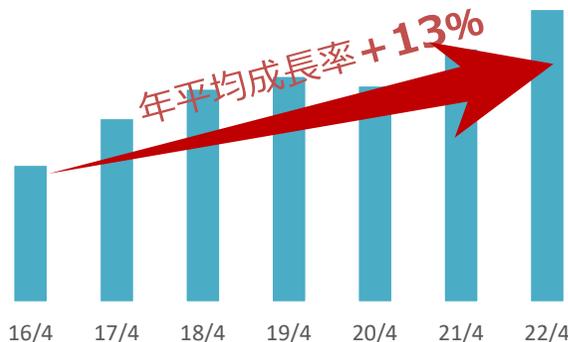
※2022年3月期より収益認識会計基準変更、2021年3月期のみ遡及適用

LSSPI社 持分法適用関連会社化<概要>

企業名	Lee Soon Seng Plastic Industries Sdn. Bhd.
事業内容	簡易食品容器等の製造・販売。マレーシア最大手。 参考) SCGM Bhd. 2022年4月期業績 売上高：8,740百万円、当期利益：948百万円
従業員数	488名(2022年9月時点)
取得価額	取得総額：約167億円（当社取得額：約67億円）
株主 (持株比率)	三井物産 60%（海外経営ノウハウ・販売拡大） エフピコ 40%（生産性の向上）
日程	2022年5月 9日 株式譲渡契約締結 8月20日 SCGM社株主総会決議 8月31日 株式取得



SCGM社 売上高推移



取扱品例



OPS(フードパック)



PP(カップ)



PET(カップ)

LSSPI社 持分法適用関連会社化<メリット>

**東南アジア
人口増加・経済成長**



機能性容器の市場拡大

1つの工場生産
(2019年新工場移転)



見える範囲で管理できる

**スペースに余裕あり
旧型生産設備あり**



**知見・ノウハウ活用により
大幅な生産性改善が可能**

販売先が分散
(最大2~3%)



顧客依存度が低い

60周年記念 マスコットキャラクター

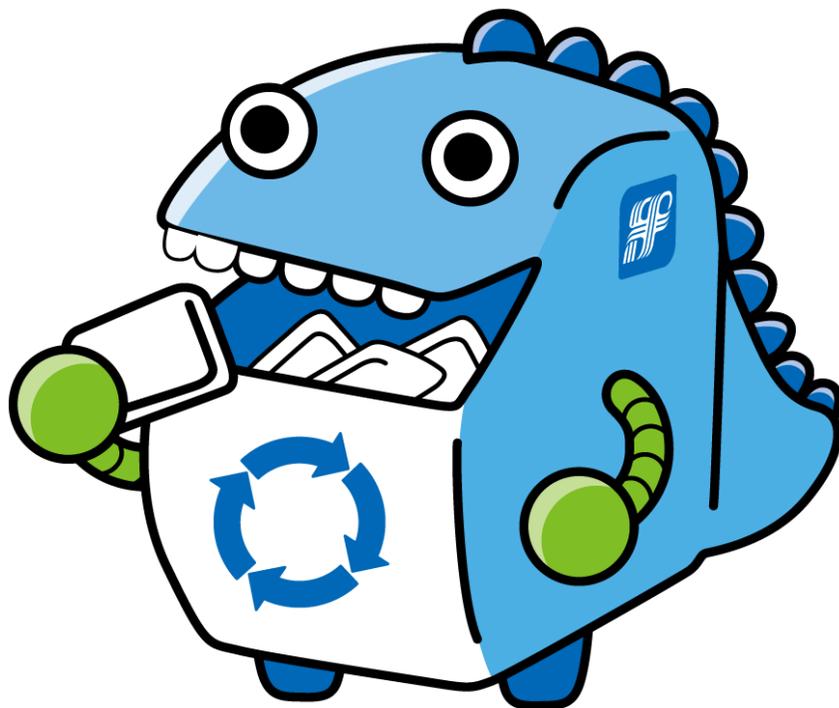


エフピコグループ社員・ご家族より公募

応募総数 **983**件

グループ総選挙投票者数

4,641人



性格・特徴

- 1億5歳
- きれいなトレーが大好き
- お腹の4つの矢印は、四者一体をイメージ
- 歩くときにピコピコ鳴る

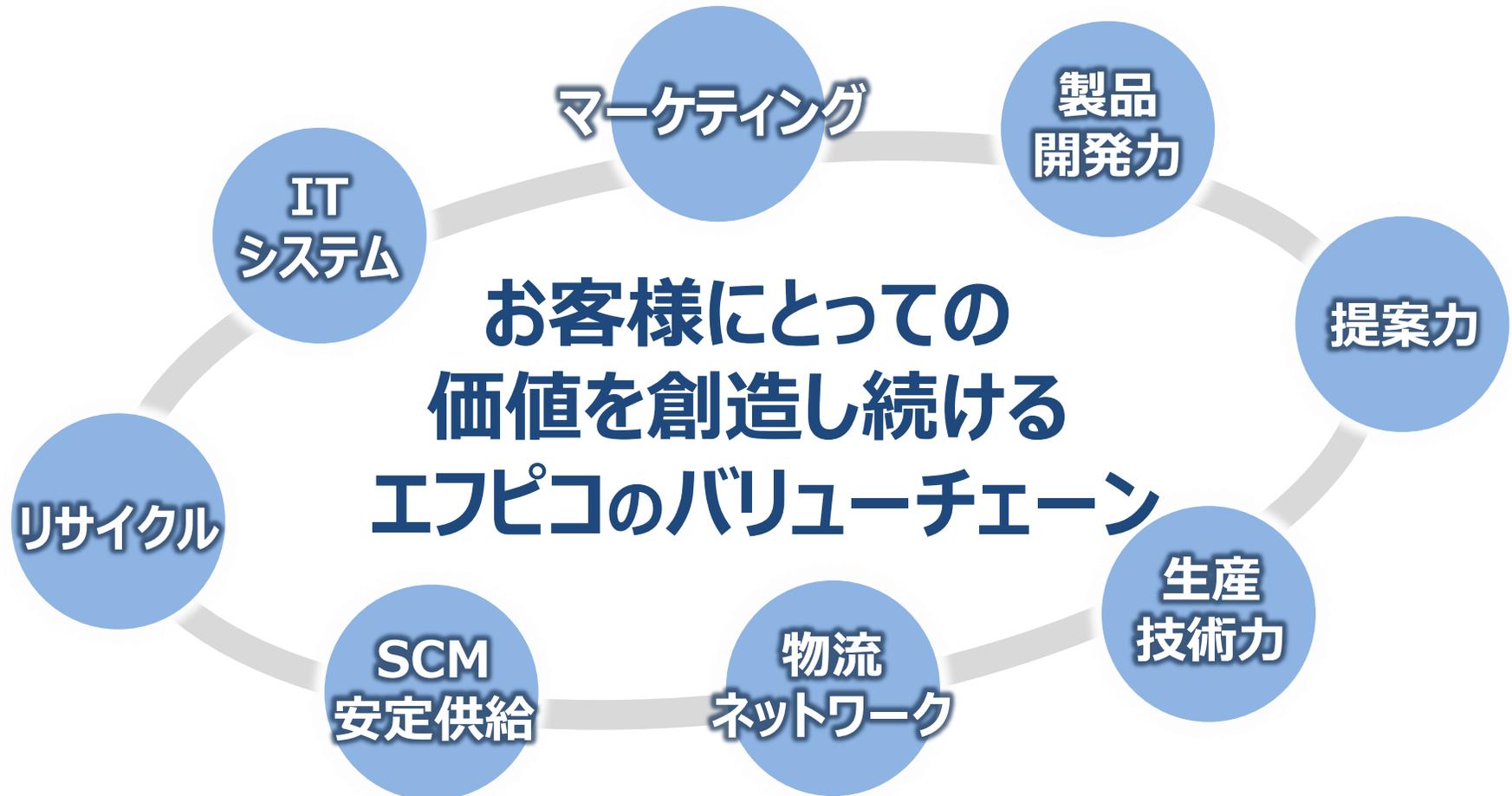


エフピコグループ マスコットキャラクター

ピコザウルス

企業価値拡大に向けて

「もっとも高品質で環境に配慮した製品を」
「どこよりも競争力のある価格で」
「必要なときに確実にお届けする」



添付資料

用語解説

PS : ポリスチレン

PET : ポリエチレンテレフタレート

PP : ポリプロピレン

マルチFP (MFP) 容器 : -40℃～+110℃の耐寒・耐熱性、耐油性及び断熱性に優れた発泡PS (ポリスチレン) 容器 (2010年販売開始)

マルチソリッド (MSD) 容器 : マルチFPの端材を活用し、その特性を維持しつつシャープな形状を実現した非発泡PS容器
耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

新透明PP容器 : 標準グレードのPP原料から、OPSと同程度の透明度を実現した透明PP容器 耐熱温度+110℃ (2012年販売開始)

OPS容器 : 従来からの二軸延伸PS (ポリスチレン) シートから成形した透明容器 耐熱温度+80℃

耐寒PPi-タルク容器 : 従来の耐寒PPフィルター容器と比較し、強度を保ちながらプラスチック使用量を削減した容器 (2022年販売開始)

エコトレー : スーパーで店頭回収されたPS容器と工場内端材を原料とするリサイクル発泡PS容器 (1992年販売開始)

エコAPET容器 : スーパーで店頭回収されたPET透明容器・PETボトル及び工場内端材を原料とする
リサイクルPET (ポリエチレンテレフタレート) 透明容器 耐熱温度+60℃ (2012年販売開始)

エコOPET容器 : エコAPET容器と同じ原料を使用する二軸延伸PETシートから成形したリサイクルOPET透明容器
耐油性に優れ、透明度も高くOPS容器と同等の耐熱性を実現 耐熱温度+80℃ (2016年販売開始)

バイオHIPS容器 : 植物由来原料を25%含んだHIPS (非発泡ポリスチレン) 容器 (2020年販売開始)

バイオPPF容器 : 植物由来原料を25%含んだPPF (フィルター入りポリプロピレン) 容器 (2020年販売開始)

FSC® : Forest Stewardship Council® (FSC®)は、責任ある森林管理を世界に普及させることを目的とする国際的な非営利団体。
FSC は、環境、社会、経済分野の利害関係者の合意によって支持された、責任ある森林管理の原則に基づく規格を定めています。

配送センター : 製品をケース単位で出荷

ピッキングセンター : 製品及び商品を小分けピッキングし出荷

選別センター : 店頭回収したPS容器を白と色に、店頭回収した透明容器をPS・PET・PP等の素材に、それぞれ選別

世界初の素材・シート

PP : ポリプロピレン

- ☆ 耐熱性がある : +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 発泡が難く、軽量化しにくい
- ★ コシ強度が低い
- ★ 耐寒性に劣る
- ★ 透明性が出難い

PP-タルク

- ☆ 強度を保ちながらプラスチック使用量削減

新透明PP

- ☆ 耐熱性がある : +110℃
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 透明性がOPSと同等

PET : ポリエチレンテレフタレート

- ☆ 最後発 樹脂
- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ★ 耐熱性が低い : +60℃
- ★ 比重が大きい

OPET : 二軸延伸PET

- ☆ 透明性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 耐熱性がOPSと同等 : +80℃
- ☆ 延伸により軽量化が可能
- ★ 成形が難しい

PS : ポリスチレン

PSP : 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 軽量化が可能
- ☆ 断熱性が高い
- ★ 耐熱性が低い : +80℃
- ★ 耐油性に劣る

MFP : マルチFP : 発泡PS

- ☆ 成形性が良い
- ☆ 原材料比率が低い
- ☆ 断熱性が高い
- ☆ 耐油性に優れる
- ☆ 幅広い温度帯をカバー
-40℃ ~ +110℃
- ☆ コシ強度がある
- ☆ 軽量化が可能

マルチFP端材の循環

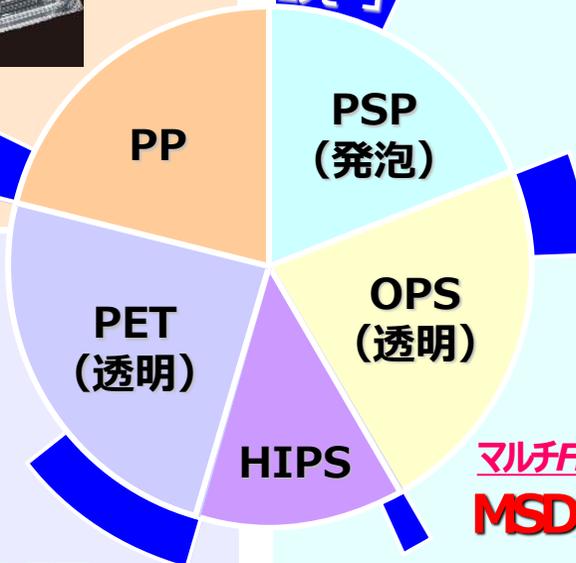
MSD : マルチリッド
: 非発泡PS

OPS : 二軸延伸PS

- ☆ 透明性がある
- ☆ 耐熱性 : +80℃
- ★ 耐油性に劣る
- ★ 軽量化に限界



エフピコ

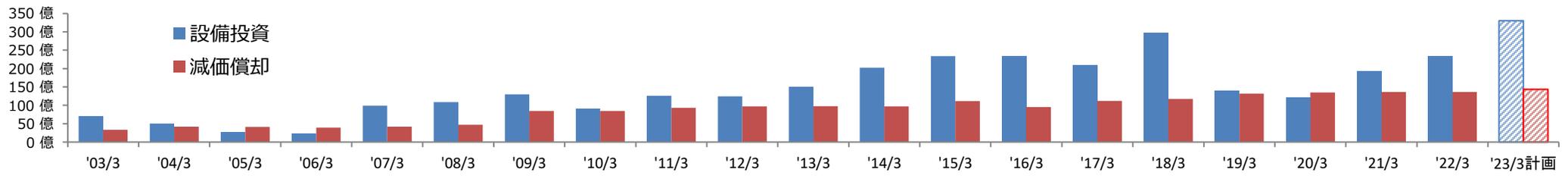


設備投資 推移

	'03年3月期	'04年3月期	'05年3月期	'06年3月期	'07年3月期	'08年3月期	'09年3月期	'10年3月期	'11年3月期	'12年3月期	'13年3月期	'14年3月期	'15年3月期	'16年3月期	'17年3月期	'18年3月期	'19年3月期	'20年3月期	'21年3月期	'22年3月期	'23年3月期計画	
生産	山形工場				下館第二工場			太洋興業日本パル容器 ダイワーズ					総合研究所									関東拡充
					中部第二工場			ウツ工場 フードパック設備 アルパ							中部エコペット工場	関東エコペット工場						関西工場・関西ハブセンター
						九州第二工場		北海道工場増設	関東八千代工							自動化						中部第一工場
																						オリジナル製品の能力増強 >
物流	東日本ハブC				関東八千代C							九州物流拠点			音声ピッキング							九州HC拡充
	九州HC							新福山PC				関西物流拠点										福山ハブセンター拡充
	関西HC							新中部PC				福山ハブセンター										中部ハブセンター
	北海道HC						北海道HC			関東PC拡充		八王子配送C										物流ネットワーク整備 >
リサイクル					中部・東北・九州リサイクル工場			容器選別センター全国展開 洗浄ライン 設備刷新 中部リサイクル工場 新リサイクルネットワーク構築 >						NPR								関東・九州能力増強
									中部 PETメカニカルリサイクル													中部ベレット化
																						PETリサイクル事業強化 >
その他					本社事務所			ユカ商事 インターハック						みやこひも	ワンルームタイプ社宅	フィルム工場 フィルム印刷工場	ワンルームタイプ社宅 グループホーム					ワンルームタイプ社宅 段ボール工場増床

単位: 百万円

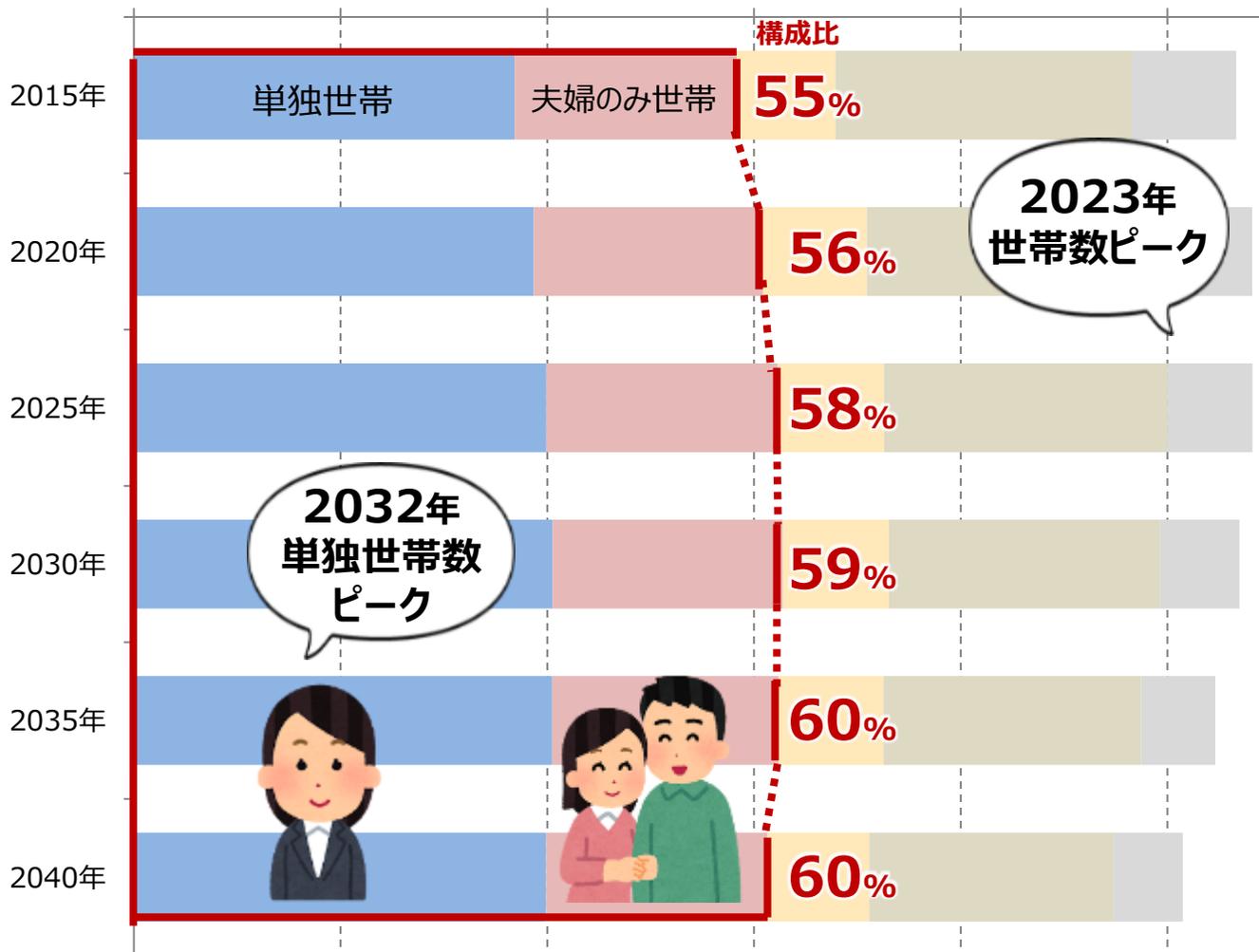
	'03/3	'04/3	'05/3	'06/3	'07/3	'08/3	'09/3	'10/3	'11/3	'12/3	'13/3	'14/3	'15/3	'16/3	'17/3	'18/3	'19/3	'20/3	'21/3	'22/3	'23/3計画
設備投資	7,096	5,037	2,742	2,394	9,885	10,909	13,007	9,090	12,585	12,423	15,087	20,258	23,377	23,383	21,060	29,891	14,038	12,214	19,412	23,361	33,000
有形	6,138	4,248	2,621	2,156	9,523	10,655	12,166	8,827	12,352	12,093	14,783	19,751	23,051	23,058	20,790	29,342	13,442	11,688	19,105	23,084	32,800
無形	958	789	120	238	362	254	841	263	233	329	303	506	325	324	269	549	595	525	306	277	200
内金型	780	460	436	550	771	609	1,892	1,507	1,833	1,946	1,425	2,151	2,416	1,777	2,028	1,485	1,462	1,756	1,426	2,028	1,710
減価償却	3,339	4,210	4,134	3,965	4,194	4,742	8,467	8,461	9,316	9,728	9,746	9,703	11,136	9,526	11,183	11,706	13,170	13,532	13,609	13,636	14,380
研究開発	654	628	689	751	895	913	965	1,035	1,101	1,051	1,062	1,148	1,105	1,242	1,223	1,197	1,159	1,229	1,195	1,154	1,397



>> '09年3月期より設備投資には、リース調達を含む投資額を表示しております。

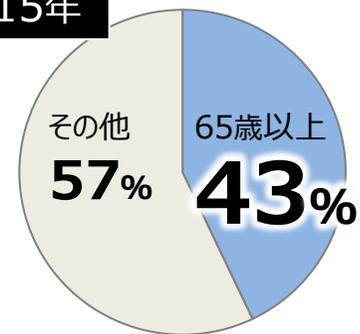
世帯数の推移

- 単独世帯
- 夫婦のみの世帯
- ひとり親と子から成る世帯
- 夫婦と子から成る世帯
- その他の一般世帯

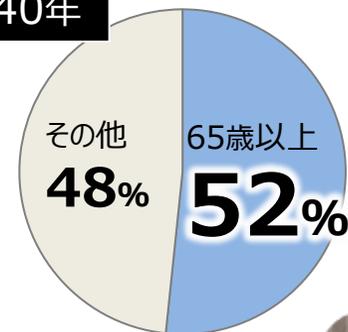


単独世帯・夫婦のみ世帯における 65歳以上の割合

2015年



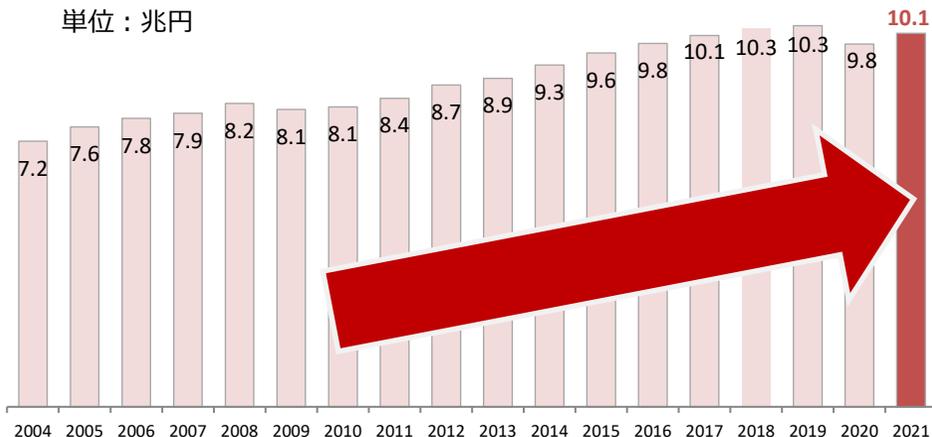
2040年



25年で9%増加

中食市場規模推移

単位：兆円



出典：一般財団法人 日本惣菜協会「惣菜白書」、一般社団法人 日本フードサービス協会、その他 当社推定情報を基に当社にて作成

2021年度
中食市場
約 **10.1**兆円

内食 約36.8兆円



外食 約18.2兆円



大手食品メーカー



今後の成長マーケット

家庭用冷凍食品

約 **3,900** 億円
2021年



出典：一般社団法人 日本冷凍食品協会
「冷凍食品の国内生産及び消費」

デリバリー

約 **1兆1,800** 億円
2021年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2022」

テイクアウト

約 **1兆4,500** 億円
2021年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2022」
※テイクアウト市場規模より
従来マーケットと重複するデリカショップなどを除く

高齢者向け施設給食

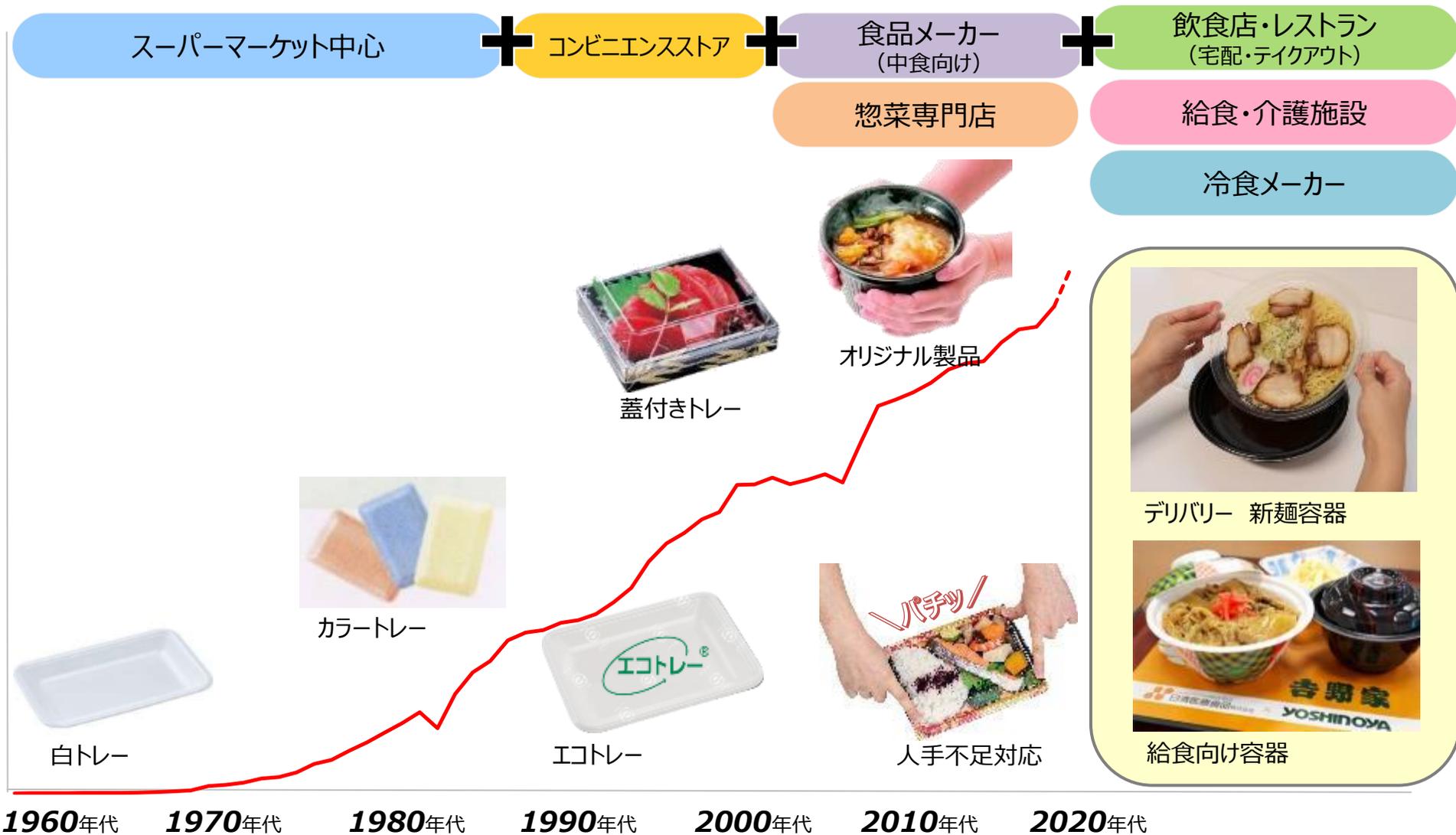
約 **9,600** 億円
2020年



出典：富士経済「外食産業マーケティング便覧2021」

拡大するマーケット

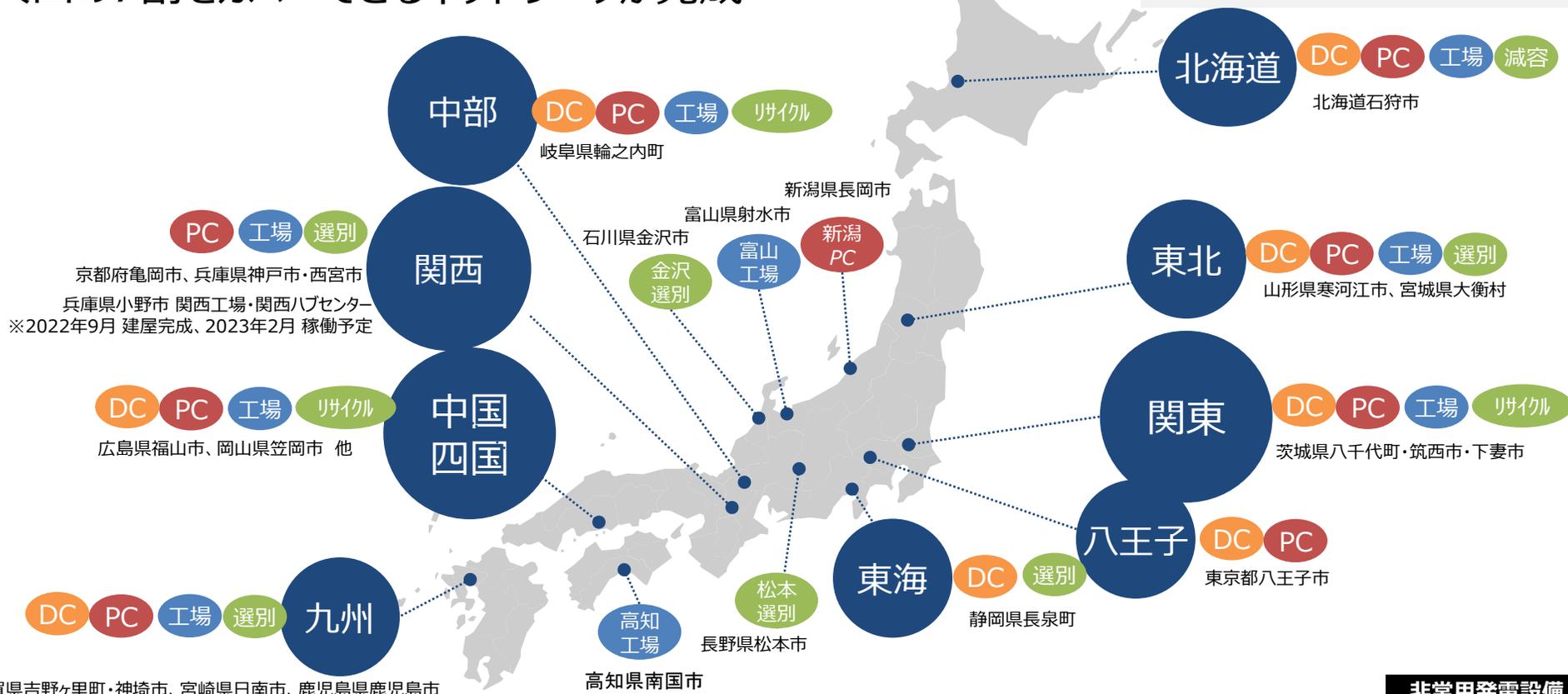
エフピコグループ
売上高



全国を網羅する生産・物流拠点

エピコは **各エリアで 生産・配送が可能**
 半径150kmで主要都市を含む
 全人口の7割をカバーできるネットワークが完成

生産工場	19拠点
配送センター	8拠点
ピッキングセンター	10拠点
選別工場	10拠点
リサイクル工場	3拠点



BCP(事業継続計画) “災害時の安定供給”
 全国21物流施設すべてに、非常用発電設備を設置
72時間の電力供給を確保、燃料備蓄

非常用発電設備



設備投資・キャッシュフロー

営業キャッシュフロー

● 設備投資 180~250億 目途

中長期的な成長に向け、高付加価値製品の供給体制を充実

【重点投資分野】

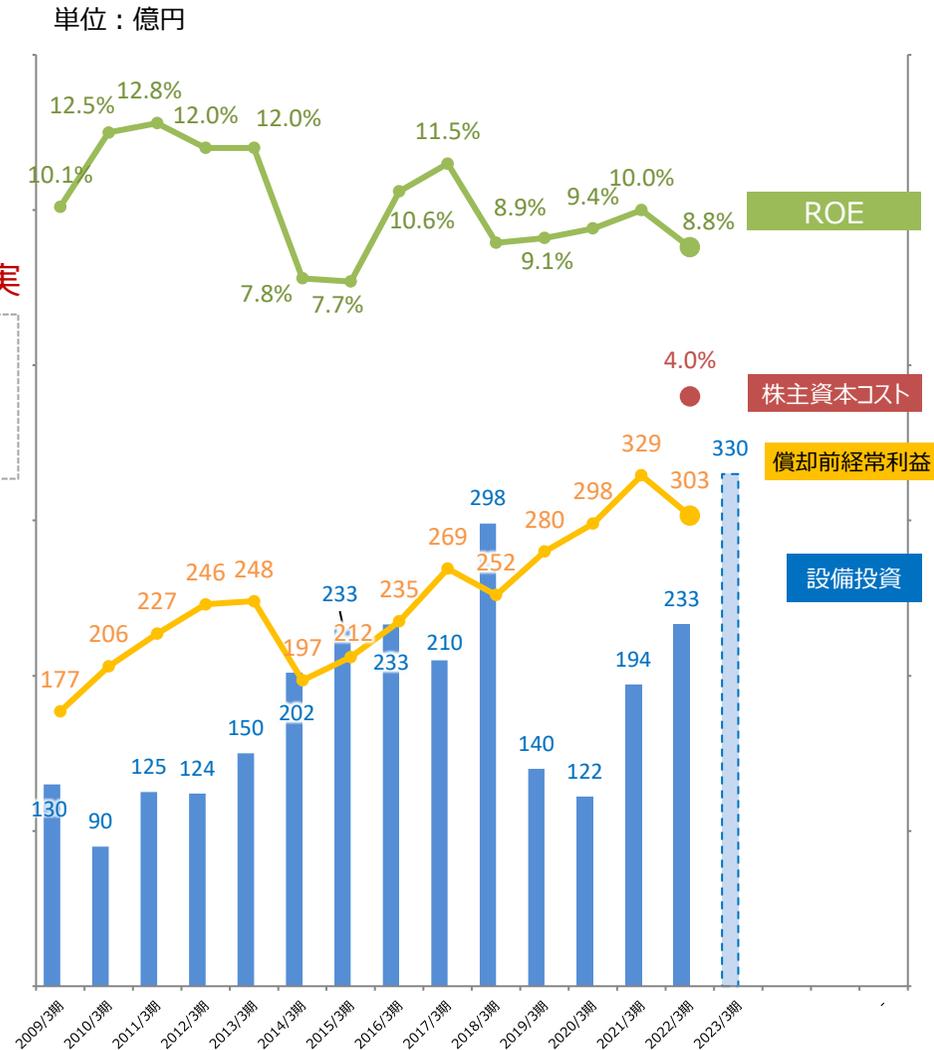
- ・リサイクル及びエコ製品の市場要請
- ・安定供給のための体制整備

● 連結配当性向 30% 目途

安定的かつ継続的な配当実施
1株当たり利益の最大化

● 自己株式の取得

● 有利子負債調整

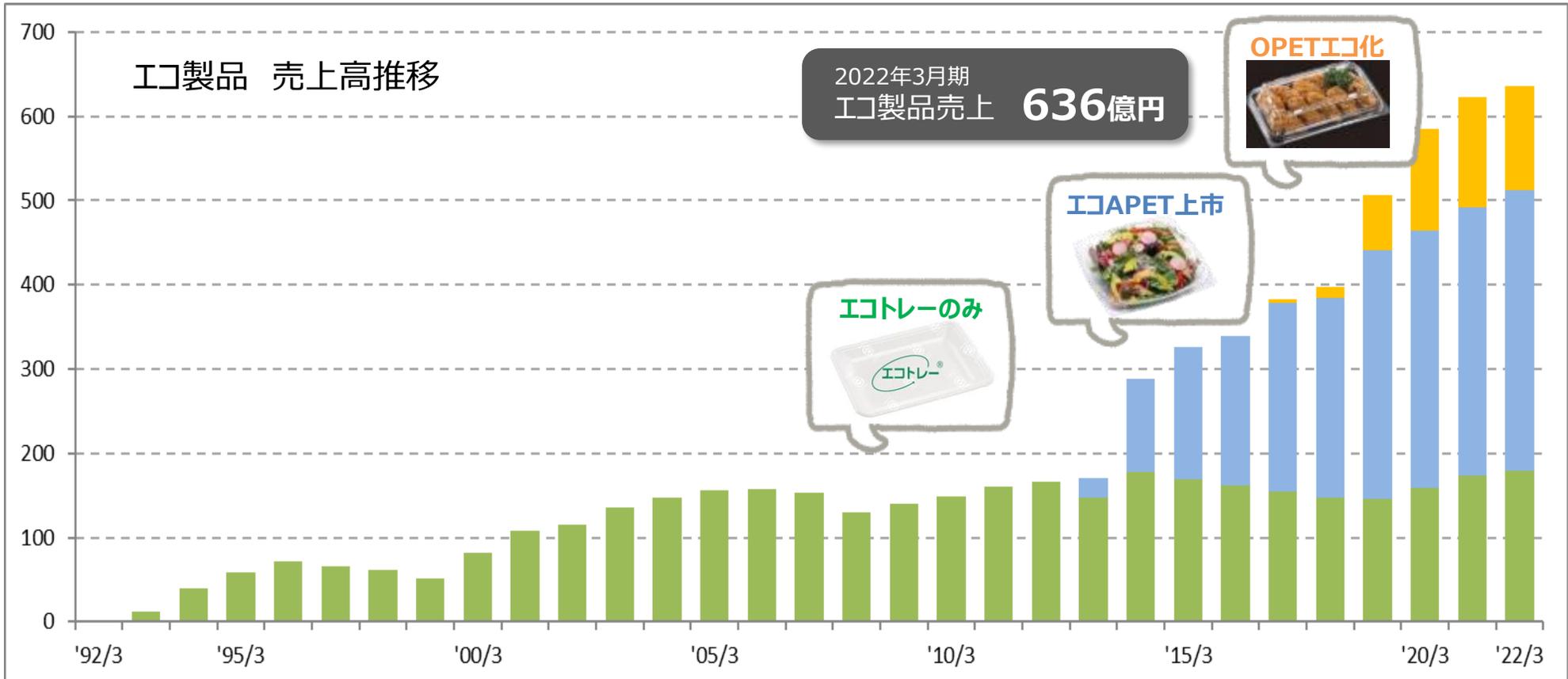


ガバナンス体制

単位：名

	2019.6	2020.6	2021.6	2022.6
組織形態	監査等委員会設置会社			
取締役 総数	17	17	18	17
うち、独立社外取締役 (構成比)	2 11.8%	3 17.6%	4 22.2%	6 35.3%
指名諮問委員会 全委員 (2021年2月設立)	—	—	3	3
うち、独立社外取締役 (構成比)	— —	— —	1 (委員長) 33.3%	2 (委員長含む) 66.7%
報酬諮問委員会 全委員 (2020年5月設立)	—	3	3	3
うち、独立社外取締役 (構成比)	— —	1 (委員長) 33.3%	1 (委員長) 33.3%	2 (委員長含む) 66.7%

リサイクル投資 と エコ比率



製品全体エコ化率
枚数ベース、通期

'13/3期
24%

'22/3期
44%

PET製品エコ化率(OPET含む)
枚数ベース、通期

'14/3期
52%

100%

再生PET原料供給能力

'11/3期
1万トン

'23/3期見込み
6.5万トン

海洋プラスチック問題 世界と日本の動向

世界の動向

2017年 **中国** 廃棄物輸入規制をWTOに通知

2018年 **G7** 海洋プラスチック憲章

2019年

2021年

バーゼル条約改正

一部の廃プラスチックが輸出規制の対象に

<規制対象外となるプラスチックの具体例>

- ①ペレット状のプラスチック
- ②フレーク状またはフラフ状かつ、ほとんど無色透明又は単一色のプラスチック
- ③製品の製造工程等から排出されるシート状、ロール状、又はベール状のプラスチック
- ④インゴット状の発泡ポリスチレン（PS）

日本の動向

環境省 プラスチック資源循環戦略

(マイルストーン抜粋)

- ・**2030年**までに容器包装の**6割**をリユース・リサイクル
- ・**2035年**までに使用済みプラスチックを**100%**リユース・リサイクルなどにより有効利用
- ・**2030年**までにバイオプラスチックを**約200万トン**導入

プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律

(概要抜粋)

【製造・販売事業者等による自主回収】

- 製造・販売事業者等が製品等を**自主回収・再資源化する計画**を作成する。

→ 主務大臣が認定した場合に、認定事業者は廃棄物処理法の**業許可が不要**に。

環境省 プラスチック資源循環戦略

カナダ・シャルルボアG7サミット 「海洋プラスチック憲章」

代替品が環境に与える影響の全体像を考慮し、使い捨てプラの unnecessary 使用を最大限に削除する。

2030年までに100%のプラスチックが、再使用可能、リサイクル可能又は、実行可能な代替品が存在しない場合には、熱回収可能となるよう産業界と協力する。

2030年までにプラスチック包装の最低55%をリサイクル又は再使用し、2040年までには全てのプラスチックを熱回収含め100%有効利用するよう産業界及び政府の他のレベルと協力する。

適用可能な場合には、2030年までにプラスチック製品においてリサイクル素材の使用を少なくとも50%増加させるべく産業界と協力する。

環境省 プラスチック資源循環戦略 「マイルストーン」

リデュース

消費者はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、代替品が環境に与える影響を考慮しつつ、**2030年までに、ワンウェイのプラスチック（容器包装等）をこれまでの努力も含め累積で25%排出抑制**するよう目指します。

リユース・ リサイクル

2025年までにプラスチック製容器包装・製品のデザインを、容器包装・製品の機能を確保することとの両立を図りつつ、技術的に分別容易かつリユース可能又はリサイクル可能なものとするを旨目指します。（それが難しい場合にも、熱回収可能性を確実に担保することを旨目指します。）

2030年までに、プラスチック製容器包装の6割をリユース又はリサイクルするよう、国民各界各層との連携協働により実現を旨目指します。
2035年までに、すべての使用済みプラスチックをリユース又はリサイクル、それが技術的経済的な観点等から難しい場合には熱回収も含め**100%有効利用**するよう国民各界各層との連携協働により実現を旨目指します。

再生利用・ バイオマス プラスチック

適用可能性を勘案した上で、政府、地方自治体はじめ国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、プラスチックの再生利用(再生素材の利用)を倍増**するよう目指します。

導入可能性を高めつつ、国民各界各層の理解と連携協働の促進により、**2030年までに、バイオマスプラスチックを最大限（約200万ト）導入**するよう目指します。

関連省庁・団体との連携

関連省庁・団体の活動

エピコの参加状況

環境省

- **プラスチック資源循環戦略**
…2019年6月のG20で、日本の「プラスチック資源循環戦略」をアピール
- **プラスチック・スマート**
…“プラスチックとの賢い付き合い方”を全国的に推進し、国内外に発信

- 業界団体として小委員会に参加
- キャンペーンHPにて「トレーtoトレー」「ボトルtoトレー」の取組を掲載

経済産業省

- **クリーン・オーシャン・マテリアル・アライアンス**
…廃棄物の適正管理、プラスチック製品の3Rの取組など海洋プラスチック問題の解決に向けたイノベーションを推進する企業連合

- 技術部会 副部長会社としてアライアンスに参加

農林水産省

- **プラスチック資源循環アクション宣言**
…食品産業の業界団体・企業から、自主的取り組みを募集

- 農林水産省HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

日本経済団体連合会

- **SDGsに資するプラスチック関連取組事例集**
…プラスチックの資源循環をより一層推進するとともに海洋プラスチックごみ問題に貢献する観点から、企業・団体による取組事例を収集

- 日本経済団体連合会HPにて「リサイクル」「リデュース」「啓発活動」の取組を掲載

イニシアティブ

- **気候変動イニシアティブ** (Japan Climate Initiative)
…脱炭素化をめざす世界の最前線に日本から参加することを宣言し、気候変動対策に積極的に取り組む団体のネットワーク

- 設立時より参加表明

【施設見学のご案内】

随時受付：経営企画室 03-5325-7756

最新鋭の 生産 ～ 物流 ～ リサイクル をご覧いただけます。

関東 JR東日本 古河駅 ～ 30分



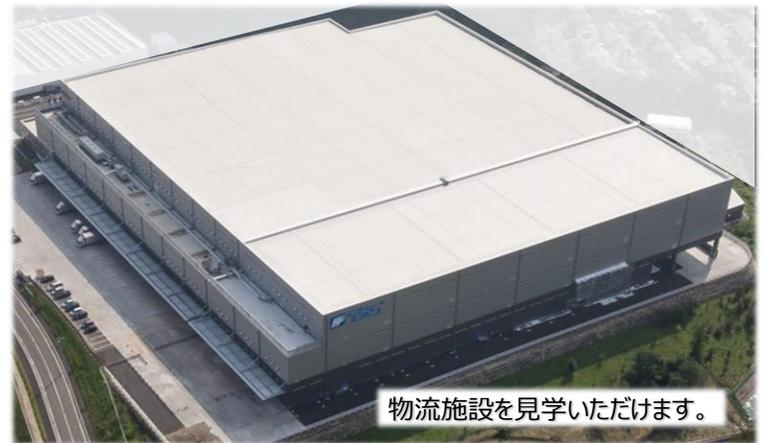
OPET生産設備



関東エコペット工場
2017年8月完成



八王子 JR東日本 秋川駅 ～ 20分



福山 JR西日本 福山駅 ～ 30分



中部 JR東海 岐阜羽島駅 ～ 20分

